

# 地方史情報 158

2022年11月

## 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

|     |    |      |    |      |    |
|-----|----|------|----|------|----|
| 北海道 | 1  | 神奈川県 | 22 | 兵庫県  | 42 |
| 宮城県 | 4  | 富山県  | 26 | 和歌山県 | 43 |
| 秋田県 | 5  | 長野県  | 27 | 岡山県  | 44 |
| 福島県 | 6  | 岐阜県  | 32 | 広島県  | 45 |
| 茨城県 | 7  | 静岡県  | 33 | 徳島県  | 46 |
| 群馬県 | 8  | 愛知県  | 34 | 福岡県  | 46 |
| 埼玉県 | 9  | 滋賀県  | 35 | 沖縄県  | 47 |
| 千葉県 | 10 | 京都府  | 37 | 寄贈図書 | 48 |
| 東京都 | 12 | 大阪府  | 39 |      |    |

### 北海道

#### ◆胆振見聞録 自然に学び歴史・文化を楽しむ

「月刊ひらく 紙の街の小さな新聞」付録

一耕社出版

〒053-0803 苫小牧市矢代町3-2-14 TEL0144-75-6790 2019年創刊

#### ◇33 2022.1 A4 4p

ふるさと懐かし写真帳 鶴丸屋上の飛行塔大人気 子供たちの夢を乗せて  
苫小牧の空をグルグル回る 一日7000人の賑わいも

一枚の写真 よいとまけ

名菓になった土場のかげ声 女性が主役の積み付け作業

すずさんから聞いた事(1)

一耕社出版 郷土の本の紹介 国道の宿場まち (とまこまい古里こぼれ話「第2話 国道の宿場まち」より)

#### ◇34 2022.2 A4 4p

ふるさと懐かし写真帳 凍った道路で大熱戦!! 昭和36年、岩倉×王

子に沸く苦小牧 路上のリンクが、広場が、子供達の胸が、熱く燃えた。

一枚の写真 イワクラ体育館 氷都を支えたもう一つのリンク  
すずさんから聞いた事(2) (N)

一耕社出版 郷土の本の紹介 凶作で明けた大正時代(とまこまい古里こぼれ話「第41話 凶作で明けた大正時代」より)

◇35 2022.3 A4 4p

ふるさと懐かし写真帳 新入学、古くて新しい父母の心得  
子らの楽しみは古今、給食?

一枚の写真 ガンが舞う弘暁のウトナイ湖  
すずさんから聞いた事(3) (N)

一耕社出版 郷土の本の紹介 マッチ軸木工場の数え歌(とまこまい古里こぼれ話「第3話 マッチ軸木工場の数え歌」より)

◇36 2022.4 A4 4p

ふるさと懐かし写真帳 嬉し恐ろし 高校「男女共学」事始め  
目の前の畑に、タンチョウがやってきた

すずさんから聞いた事(4) (N)

一耕社出版 郷土の本の紹介 墓所の沼の水泳ぎ(とまこまい古里こぼれ話「第17話 墓所の沼の水泳ぎ」より)

◇39 2022.7 A4 4p

ふるさと懐かし写真帳 確かな知識と情報を 図書館が市民の中へ  
移動図書館誕生秘話 故・楠野四夫さん(市立苦小牧中央図書館4代目館長)の回想から 地域の子供たちに本を運ぼう 職員が知恵しぼって夢実現

一耕社出版 郷土の本の紹介 豊平館の馬を食う会(とまこまい古里こぼれ話「第14話 豊平館の馬を食う会」より)

◇40 2022.8 A4 4p

ふるさと懐かし写真帳 樽前山神社今昔 まちと人々見守り続けて  
大正14年発行「大苦小牧を囲繞せる人々」による紹介(現代用語に読み下し)

樽前山神社奥宮 樽前山上から苦小牧を見守る  
激しい風説で石室づくり

一耕社出版 郷土の本の紹介 墓所の沼の水泳ぎ(とまこまい古里こぼれ話「第17話 墓所の沼の水泳ぎ」より)

◇41 2022.9 A4 4p

ふるさと懐かし写真帳 苦小牧・町役場今昔

本町から本幸町、そして旭町へ  
 明治時代の苦小牧村役場／「苦小牧市街地概略図(昭和30～32年)」改訂版完成  
 一耕社出版 郷土の本の紹介 芝居、浪曲、活動写真(とまこまい古里こぼれ話「第44話 芝居、浪曲、活動写真」より)

◆郷土研究 砂川市郷土研究会

〒073-0195砂川市西六条北3-1-1 砂川市教育委員会 TEL0125-54-2121  
 1955年創刊

◇54 2022.3 B5 117p

《創立65周年記念合併号》

|                        |    |    |
|------------------------|----|----|
| 創立六十五周年並びに第五十四集刊行にあたって | 廣瀬 | 清  |
| アイヌ民話と開拓当時のお話          | 廣瀬 | 清  |
| 砂川遊水地二十五年              | 中寺 | 礼子 |
| 『歴史を物語る地図⑤』の追加         | 斎藤 | 勲  |
| 創立六十五周年記念              |    |    |
| 昔の暮らし                  | 廣瀬 | 清  |
| 昭和の記憶                  | 中寺 | 礼子 |
| 私の昭和史                  | 羽原 | 昇一 |
| 幼少から昭和三十四年までの記憶        | 井上 | 豊  |
| 子供のころの遊び               | 増山 | 裕司 |
| 洪水トラウマ                 | 斎藤 | 勲  |
| 昔の今の違う所                | 本間 | 良子 |
| 富樫先生の思い出               | 斎藤 | 勲  |
| 次世代へ継ぐ「思い遣り」           | 玉菊 | 盛雄 |
| 幼少時に見た戦中戦後             | 斎藤 | 勲  |
| 音楽堂の思い出                | 斎藤 | 勲  |
| 砂川出身の著名人               | 廣瀬 | 清  |
| 「昔の暮らし 砂川まち物語」         | 廣瀬 | 清  |

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階  
 TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇390 2022.9 A4 8p

|                    |    |     |
|--------------------|----|-----|
| 国指定重要文化財 旧三井銀行小樽支店 | 山本 | 侑奈  |
| 歴史と芸術が、響きあう 小樽芸術村  | 磯崎 | 亜矢子 |

- 国指定史跡「手宮洞窟」—文化財は歴史を紡ぐ  
シリーズ伝える 開拓入植者が創始  
浦幌開拓獅子舞—故郷に想いをのせて 竹田 輝雄  
まちのイチオシ 小さな町の歴史を未来に くねっぶ歴史館 下坂 孝之  
第1回文化財講演会 北前船、藍・煙草の旅路をたどって 桜井 朋子  
—日本を変えた鯨のサステナブルな循環 北室かず子  
博物館ひろば 別海町郷土資料館 3館の特徴生かし運営 石渡 一人  
文化財講座 歴文ナイト・ストリーム 第1夜「北海道のれんが150  
年」石垣秀人氏、第2夜「北海道の哺乳動物化石発掘秘話」木村方  
一氏、第3夜「開拓使とビールのおいしい関係」栗原史氏／トーク  
ショー 市制百年記念港町函館を語る／かでの展示 船で語る北方  
の歴史—千島・樺太・堪察加・北海道

◆北海道大学大学文書館年報

〒060-0808札幌市北区北八条西8丁目 TEL011-706-2395 2006年創刊

◇17 2022.3 B5 11p

田中義麿日記「未央手記」をめぐって(1)

- 日露戦争下における札幌農学校予修科の学生生活 山本美穂子  
1907～1917年の高等学校長会議における諮問事項と決議事項 廣瀬 公彦  
東北帝国大学農科大学林学科学生の専攻分野と卒後進路 佐々木朝子  
展示 「宮沢・レーン事件」80周年特別展  
—事件をめぐる“出会い”と“絆”をたどる 解題・井上高聡

宮 城 県

◆震災文庫だより 宮城県図書館

〒981-3205仙台市泉区紫山1-1-1 TEL022-377-8498 2020年創刊

<https://www.library.pref.miyagi.jp>

◇4 2022.3 A4 2p

東日本大震災文庫編

- ポスターやチラシを歴史的な資料へと整理する  
必要な図書館に資料を  
東日本大震災文庫展を開催中

東日本大震災デジタルアーカイブ編

- アーカイブで新聞記事を探せるように  
Youtubeでも「アーカイブ宮城」を知ってほしい

パネル展を開催中 パネル展「ファインダー越しにたどる10年」

◇5 2022.9 A4 2p

東日本大震災文庫編 目次情報を登録することで資料をより探しやすく／思い出を未来に伝える／『震災文庫だより』のバックナンバーは当館HPから

東日本大震災デジタルアーカイブ編 寄せられた紙資料をデジタル化してコンテンツに／こういうものを集めています／新たに公開したコンテンツ

◆ナジェージダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643

<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>

◇48 vol.21 2022.8 A4 40p

2021年度石巻若宮丸漂流民の会総会&佐藤三寿夫講演会 佐藤三寿夫

氏講演会「船と航空機の航法から考える地球」 本間 英一

只野真葛は『環海異聞』を読んだか? 木村 成忠

若宮丸漂流民 長崎滞り時余話 小松 芳文

青森から

その後の多賀丸の軌跡—イルクーツク学術調査隊の成果 工藤 朝彦

おろしや盆踊唄 松井 哲朗

新講談「若宮丸漂流民物語—ふるさとなお遠く」

宮野森小・鳴瀬桜華小での課外授業 力強く生きた人が室浜にいた!

齋藤 博

善六の覚悟、そして高田屋嘉兵衛の肖像画の謎 佐藤三寿夫

コラム 私の読書 椎名誠「漂流民は何を食べていたか」を読んで

—漂流民マニアによる漂流記入門書 大島 幹雄

書籍紹介 岩岡中正『幕末の漂流物・庄蔵 二つの故郷』

資料紹介 レザノフ関連資料貼交ぜ屏風

## 秋 田 県

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

<http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html>

◇78 2022.9 B5 26p

表紙 払田柵跡外柵南門(大仙市払田) 撮影・谷地薫氏

特集 春のフォーラム 古代の秋田

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 雄勝城、その所在地を求めて—雄勝城・駅家研究会の取り組み | 高橋 学  |
| 弘田柵跡研究の現状と課題—まもなく調査50年       | 谷地 薫  |
| 用語解説 会誌77号「宿坊記録」の補遺          | 半田 和彦 |
| 歴史情報                         |       |
| 茶谷十六氏 韓国外交部長官表彰を授与される        | 工藤 一紘 |
| 佐藤晃之輔著『秋田道路元標&旧町村抄』          | 渡辺 修  |

福島県

◆フークトープ通信

◇51 2022.10 A4 2p

国・郡境や大国の狭間に形成された地域社会  
フークトープ紀行(51) コスキン・エン・ハボン(川俣町) 日下部善己  
赤井 武史

◆ふくしまの歴史と文化財 文字摺通信

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇24 2022.9 A4 4p

大壇愛宕神社祭礼に行ってきた 御神体はお地藏さん！  
福島生糸検査所の資料が福島市郷土史料室に収められました

◇25 2022.10 A4 6p

初代信夫山秀之助を知っていますか？

「春秋園事件」に参加して鬢を切った川俣出身の力士です  
昭和初期の大相撲は／春秋園事件とは／「福島民報」は連日大見出し  
で報道しました／郷土出身力士信夫山秀之助は《記事本文》『資料  
叢書』に掲載も前半だけですので、全文を載せませす。

貴重な資料を紹介いただきました 「白菊塚の調査」(『群衆の中のロ  
ビンソン』江戸川乱歩 河出文庫1995)

一誠の記憶(第一小学校所蔵写真から) 昭和30年前後の給食の風景。

◇26 2022.10 A4 4p

古跡を歩く(1) 阿武の松原(伊達市箱崎)

信達歴史文化研究会の東屋沼神社整理事業から 氏子札がありました

一誠の記憶(第一小学校所蔵写真から)

裸で騎馬戦！(昭和46年 大運動会)

## 茨 城 県

### ◆地文研

桶川地域文化研究会

会長：今井正文

◇19・20 2022.3 A4 31p

|                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 巻頭言 会報19・20合併号発刊によせて          | 今井 正文    |
| 桶川地域文化研究会の設立とその前後に            | 杉井 昭雄    |
| 歴史とは何か                        | 宮田 雄幸    |
| 地域の神社や寺は子供のゆりかご               |          |
| 一稲荷神社と浄念寺の『市』の思い出             | 石田 文子    |
| 忘れ得ぬ人の書簡—故高柳乙晴(つぐはる)氏を偲んで     | 天沼 正明    |
| 「二一天作(にいちてんさく)」               | 豊田 敏彰    |
| コロナウイルス大流行時思うこと               | 森田 彩子    |
| 西尾小左衛門吉次公の調査                  |          |
| 一江戸初期、原市・上尾・桶川周辺(5千石)の領主大身級旗本 | 山村 和由    |
| ショートコラム                       |          |
| 渡辺家花火文書                       | 堀口 長治    |
| 冠水橋だった太郎衛門橋の頃                 | 豊田 敏彰    |
| 赤 紙                           | 三好 礼子    |
| 空が広い桶川(朝陽と夕陽)                 | 今井 正文    |
| 縄文の釣り針では魚は釣れない                | 堀口 長治    |
| 聞いた話3題                        | 三好 礼子    |
| 川田谷体協朝の駆け足運動—50周年記念に寄せて       | 黒沼豊／水村実男 |
| 緑のオオシスと竹林                     | 平井 一男    |
| 桶川公民館事始め—方面会館と高田和逸            | 今井 正文    |

### ◆歴史文化研究(茨城) 歴史文化研究会(茨城)

〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B 205 三石善吉方 TEL047-345-5323

年5000円 2014年創刊

◇9 2022.7 A5 139p

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 巻頭言 果たしてプーチンを裁くことが出来るか          | 三石 善吉 |
| 会沢正志斎の理想の権力                     | 吉田 俊純 |
| 歴史認識と「死者」のことば(1)—太平洋戦争における戦没学徒の |       |
| 「居場所」とそこからの「声」をめぐって             | 菅谷 務  |
| 阿部謹也の「世間」論と和辻哲郎「間柄」論〔倫理学〕との通底性  | 関口 順  |

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| フィンランド、世界で初めて「半大統領制」の出現       | 三石 善吉 |
| 左圭『百川学學』の諸版本について              | 久保 輝幸 |
| 『藤岡屋日記』・雑記                    | 鈴木 俊一 |
| トンガ通信—火山災害と新型コロナ市中感染          | 高島 宏明 |
| 書 評                           |       |
| 加納喜光著『植物の漢字語源辞典(新装版)』         | 久保 輝幸 |
| 伊藤純郎著『満蒙開拓青少年義勇軍物語 「鉄の戦士」の素顔』 | 桐原 邦夫 |

## 群馬県

### ◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<https://gunmabunka.org/wp/>

◇346 2022.8 A5 103p

研究大会誌上発表 《シリーズ 上武国境地域の諸相》vol.2

「上武国境河川地域の歴史と文化」

基調講演

|                          |       |
|--------------------------|-------|
| 千代田の御仏たち—光恩寺と宝林寺の仏像をめぐって | 岩佐 光晴 |
| 秀郷流武士団と利根川—鎌倉御家人佐貫氏の成立   | 須藤 聡  |

研究報告

|                   |      |
|-------------------|------|
| 近世の利根川渡船と上武国境河川地域 | 竹内 励 |
|-------------------|------|

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 越境する宗教者—上武国境地域の太々神楽 | 矢嶋 正幸 |
|---------------------|-------|

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 近代以降の文芸にみる邑楽郡千代田町赤岩の芸術的風景認識 | 井坂 優斗 |
|-----------------------------|-------|

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 「沼田根元記」の史料学研究—「加沢記」との比較を通して | 丑木 幸男 |
|-----------------------------|-------|

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 「加沢覚書草稿」の紙背文書と成立年代 | 藤井 茂樹 |
|--------------------|-------|

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 群馬の歴史的建造物(7) 民家建築の見方 | 村田 敬一 |
|----------------------|-------|

新刊紹介

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| 原田恒弘・田名網雅久著『米軍が撮影した空襲後の前橋』 | 丑木 幸男 |
|----------------------------|-------|

|                            |      |
|----------------------------|------|
| 孀恋郷土資料館編『災害と復興 天明三年浅間山大噴火』 | 青木 豊 |
|----------------------------|------|

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 口絵 薙刀 銘上州住守重—群馬県立歴史博物館蔵品資料(147) | 森田 真一 |
|---------------------------------|-------|

### ◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇272 2022.10 A5 57p

口絵 前橋陸軍予備士官学校

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 「前橋予備士官学校 17.8.12」(筆者蔵)         | 井野 修二 |
| 渋沢栄一と島村の蚕種業                     | 宮崎 俊弥 |
| 聖石木橋について                        | 川崎 洋幸 |
| 群馬の地質と歴史の話題あれこれ                 | 中島 啓治 |
| 雷電為右衛門と初代前橋市長下村前太郎家             | 井野 修二 |
| 巖穴赤羽一の獄中死 一考(上)                 | 石山 幸弘 |
| 臨江閣はだれが建てたのか—釀金者の職業から分かること      | 井野 誠一 |
| サグラダ・ファミリア(スペイン)                | 山崎 正  |
| 支部だより 信玄生誕五百年の甲府を訪ねて            | 金井 正元 |
| 歴史散歩の報告 磐梯山南西麓をゆく(福島県)—幕末・維新の会津 | 山崎 正  |
| 表紙写真 雷電為右衛門像(道の駅 くるみの里) 長野県東御市  |       |

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇171 2022.9 B5 4p

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 岩松氏の陸奥国千倉荘支配              | 長谷川明則 |
| 「藤九郎盛長」再考                 | 須藤 聡  |
| 第39回講演会記事 今井秀和氏「群馬県の怪異伝承」 | 鈴木 英恵 |

## 埼 玉 県

◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027越谷市大房1006-4-410 津山正幹方 TEL048-976-9387 1973年創刊

◇107 2022.11 B5 104p

《秋田県北秋田市綴子地区合同調査特集》

|                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 秋田県北秋田市綴子大太鼓の里           | 高橋 進                  |
| 綴子の獅子踊、糠沢の神仏ほか           | 古川 実                  |
| 秋田県北秋田市綴子地区・阿仁地区打当見聞録(抄) | 森岡 弘典                 |
| 大太鼓の綴子—村落構造と生活、地区行事の変遷   | 河合 久和                 |
| 思い出の綴子生活誌                | 神 かほり                 |
| 晩秋の羽州街道                  | 下境 芳典                 |
| 綴子の暮らし—女性の一生を中心に         | 西尾 嘉美                 |
| 綴子地区の暮らしについて             | 村山 翠                  |
| 最後の炭焼き人                  | 菊池 恭平                 |
| 綴子の住まいと暮らし               | 聞き書き 森隆男・宮崎玲子/作図 宮崎勝弘 |
| 北秋田市綴子の民家と居住生活           | 津山 正幹                 |

会津の八百比丘尼伝説(2)  
民俗学と研究会活動(8)

小澤 弘道

全国的民俗調査の実施(3)—いわゆる「離島調査」  
五十嵐稔前代表を偲ぶ(続) 古々路の会の皆様へ  
第四八回合同調査のご案内 岐阜県郡上市白鳥町石徹白地区  
第四八回合同調査幹事：西尾嘉美、地元幹事：岡田吉孝  
ニュースから(1)～(9)

今野 大輔  
五十嵐 良

## 千葉県

### ◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇243 (通550) 2022.8 A4 16p

歴史部会 9月の研究講座のお知らせ

県営渡船「中秋丸」就航の背景と手賀沼南岸・南相馬の文化  
コロナ禍の中、初級古文書講座を開催

中臺 卓夫

初級古文書講座によせて

荒井 茂男

先祖を知ろう！の思いで、初級古文書講座へ

高島 玲子

令和4年 初級古文書講座に出席して

下村百合枝

古文書火曜部会 7月度活動報告 柏市旧戸張村浜島家文書 3通

中塚 和枝

歴史部会 7月の活動報告 「8代目増田惣兵衛道中日記帳」より

菊田 征男

古代史研究グループ 7月の活動報告

脇 明子

考古学とはどんな学問か(上)

宗岡 恒雄

『将門記』の世界を点描する—招婿婚と女論・将と清盛・天命思想

山崎 章藏

◇244 (通551) 2022.9 A4 14p

会員著書紹介 『沼南の宗教文化論集』

椎名宏雄会員が刊行しました！(自家出版)

岡本 和男

古文書日曜部会 9月の活動報告

「牛久騒動女化日記」(故高島眞一氏所蔵文書)

鈴木江里子

古文書火曜部会 9月度活動報告

柏市旧戸張村濱嶋家文書 2点

近江 礼子

井上家文書研究会 9月の活動報告

No.976 表紙欠(御用留・寛政3亥正月～8辰正月)

中澤 雅夫

我孫子市史を読む会 9月活動報告 「江戸時代の農業・農村」

脇 明子

我孫子の社寺を訪ねる(47)

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇30 2022.10 A4 12

志津の地名について(19)

佐倉・将門町の地名の由来

勝手読み「古今佐倉真佐子」

西志津の街づくり(1)

武士(2)

つぶやき「新型コロナには百折不撓の精神」

田中 征志

小川 眞資

山部 紘

田辺タツ子

瀬田貴久子

(小川)

◆千葉県立中央博物館研究報告

〒260-0852千葉市中央区青葉町955-2 TEL043-265-3111 1989年創刊

www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/

◇16-1 2022.3 A4 72p

下部白亜系銚子層群から産出したミノガイ科ハネガイ属二枚貝化石

伊左治鎮司／岩本直哉

房総丘陵におけるアワチドリ(ラン科)生育地の確認

尾崎煙雄／西内李佳／齊藤明子／樽宗一郎

近接した生育地間におけるミツデウラボシ *Selliguea hastata* の葉形変異

水野 大樹

千葉県産の地衣類(12) 県新産の2種: オオクロボシゴケ *Pyxine limb*

*ulata* とクロウメボシゴケ *Trypetheliopsis yoshimurae*

坂田歩美／原田浩

県立房総のむらの大型菌類相

吹春俊光／腰野文男／大野将史／佐野悦

三／P.T.Ngyen／N.H.Nguten／清水公徳

日原鍾乳洞周辺を中心とした東京都奥多摩地域における陸産貝類の現

況調査

黒住耐二／中原ゆうじ

千葉県立中央博物館生態園で人囮法により捕獲されたアオバトシラミ

バエ

木村悟朗／尾崎煙雄

千葉県におけるアカアシカツオドリ *Sula sula* の記録

平田和彦／小田谷嘉弥／白川浩一／黒田理生／神

田義之／椎原路子／澤本将太／森颯人／桑原和之

千葉県立中央博物館敷地内(千葉市中央区)におけるニホンアナグマ

*Meles anakuma* の出現記録

宮川尚子／下稲葉さやか

## 東京都

### ◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇655 2022.9 A4 4p

文化遺産調査の日常一琳派の花園あだち展への道 郷土博物館(多田文夫)  
あだち民具図典(15) 斗枵 萩原ちとせ  
協働展「足立の学童疎開」を終えて 郷土博物館

### ◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇414 2022.9 A4 4p

学童疎開資料展を終えて／「学童疎開資料展の開催について」足立区  
立郷土博物館・足立の学童疎開を語る会

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(25)

編・堀川和夫

報道による学童疎開資料展 「朝日新聞」2022年8月21日(日)、「東  
京新聞」2022年7月29日(金)、「足立よみうり」令和4年7月15日(金)、  
「足立朝日」令和4年8月5日(金)

懐かしい赤門寺の縁日／勝専寺本堂(インド風) 勝専寺(赤門寺)



\* 足立区教育研究所は、終戦から50年を迎えた1994年に、同区における学童集団疎開についての体験者への取材調査と資料収集を行い、翌年、区教育委員会・区教育振興公社主催による「学童集団疎開50周年資料展」を開催した。その折りの資料は区立郷土博物館に収蔵されている。疎開開始70年に当たる2014年には、疎開体験者らによって「足立の学童疎開を語る会」が結成され、資料展や小学校で

のレクチャー活動などを続け、2020年には郷土博物館中庭に、学童集団疎開祈念碑「平和の礎に」を建立した。

本号には2022年7月から8月にかけて郷土博物館で開催した「学童疎開資料展」の報告と、新聞各紙での報道の様子を掲載している。しっかりと資料を残し、伝え続けて行くことの重要性を改めて感じさせられる。

本号48pの「寄贈図書紹介」に掲載した、足立の学童疎開を語る会編・刊『学童集団疎開平和祈念碑が伝えるもの一体験者の建立への想い』と合わせて参照されたい。

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 Tel.042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇141 2022.9 A4 8p

復元建物、郷土の森に建つ その6 旧田中家住宅 佐藤 智敬

最近の発掘調査 美好町で発見された3棟の竪穴建物 美好町1丁目

西野 善勝

NOTE 府中のトイレ事情今昔

荒 一能

展示会案内 企画展 ちょっとむかしの暮らし その5

佐藤 智敬

多摩川今昔 TAMAGAWA IMA MUKASHI(2) 江戸時代の上納帖

花木 知子

太陽系惑星ツアー(6) 土星と言えば…?

村井 太一

◆板橋史談 板橋史談会

〒173-0015板橋区栄町24-12-203 井上富夫方 FAX03-3579-3178

1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>

◇313 2022.8 B5 40p

表紙写真解説 「お月見」(板橋区赤塚五丁目三十五番、板橋区立郷土

資料館) 撮影日:2021年9月19日

写真と文・井上富夫

板橋にみる木曾御嶽塚一山岳信仰と模擬山

松崎 憲三

城への誘い(4)

三原寿太郎

区政つれづれの記(9) 総務・選挙編(2)

松浦 勉

中台辺り 思い出ははるか彼方へ

小松 光江

地域図書紹介『板橋区 渋澤榮一地図 一八四〇-二〇二二』

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇447 2022.9 B5 20p

我が思い出の風景 小泉 重光  
若御子山、大反山今昔 加藤 恒彦  
奥武蔵の股旅作家と親分衆(3) 相楽高志／大河原義重  
今年の奥武蔵・秩父地域の山岳遭難 町田 尚夫

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊

◇144 2022.8 B5 6p

第459回 月例見学会 ふるさと農家体験館見学 榎本 龍治  
第460回 月例研究会  
二つの貝塚から知る縄文人の暮らし 鈴木 直人  
第461回 月例研究会  
上十条区役所通り戦前期商店街の復元 榎本 龍治

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188 <http://www.girei.jp>

◇227 2022.9 A4 8p

催事スケッチ 神奈川県山北町 山茶のお峯入り ユネスコ無形文化  
遺産入りを果たす風流踊 写真と文 久保田裕道  
儀礼文化を語る 儀礼文化講座(令和4年度第2回)  
料理「和食の魅力」 近茶流宗家 柳原尚之  
儀礼文化を語る 儀礼文化講座(令和4年度第3回) 暮らしの歴史  
「有職故実」 京都皇典講究所・京都國學院講師 尾崎俊廣  
レポート 儀礼文化セミナー(令和4年度第1回) 生活工芸「年中行  
事と一生の儀礼、祭礼に見る日本文化」 講師：国立歴史民俗博物  
館教授 松尾恒一 菅原 信之  
北の大地に伝わる故郷の獅子舞 久保田裕道  
ミュージアム探訪 北区飛鳥山博物館と王子神社(東京都北区)  
儀礼文化アーカイブ 第七回地方大会 讃岐路の文化を探る 松崎 睦彦  
ニュース 新指定の重要無形文化財／新選定の選定保存技術

◆月刊神田画報 カンダデザイン

〒101-0064千代田区神田猿楽町2-2 澤田ビル206 TEL03-3296-7121

◇177 2022.9 A4 4p

昔むかしの神田探訪(95)

明治十七年の神田祭を撮った男 江崎礼二

酔馬 主水

◆交通史研究 交通史学会（発売：吉川弘文館）

〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科  
原淳一郎研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>

◇101 2022.9 A5 110p 2500円

交通史学会第48回大会報告 飯塚 公藤

大会講演録 産業革命期南ウェールズの交通—運河を中心にして 梶本 元信  
大会報告要旨(共通論題)

戦国～江戸時代初期の街道交通と宿駅の発展 村上 晴澄

岐阜県可児郡における鉄道整備と非出資者の反応 林 泰正

東西諸国における古代道路の共通原理 轟 博志

高度経済成長期における国鉄幸袋線廃止 三木 理史

ドイツ・ライプツィヒ中央駅開業における対応について 久保 健

総会報告 常任委員会(文責・原淳一郎)

日露戦争における軍事郵便制度と運用実態

—逓信省官吏の動向を中心に 望月 みわ

史料紹介 草津宿本陣田中七左衛門文書—歴史資料調査の概要と余録  
八杉 淳

書 評

千住一・老川慶喜編『帝国日本の観光—政策・鉄道・外地』 山根 伸洋

2021年度第4回例会報告(第17回卒業論文・修士論文報告会) 常任委員会

江戸廻船問屋の基礎的研究 土肥 雅高

幕末・明治期における在野の国学者渡辺真楫の行動と精神 関 廣好

譜代大名の参勤交代—半年交代の検討を中心に 竹内 励

2022年度第1回例会報告 常任委員会(文責・井田泰人)

外山脩造の足跡と活動—洪沢栄一との関わりに着目して 松本 和明

研究会情報 首都圏形成史研究会 シンポジウム「“鉄道史”展示の  
現状と課題—地域博物館の視点から」

◆西行学 西行学会（発売：笠間書院）

〒102-8336千代田区三番町6-16 二松学舎大学文学部国文学科  
五月女肇志研究室内

◇13 2022.10 A5 242p 4200円

表紙のことば 御正伸(1914～1981年)「時雨西行」(架蔵) (山本)

大会講演記録

|   |                |
|---|----------------|
| 吉野のほかにかかるべしとは—西行初度陸奥の旅の意義<br>陸奥平泉から西行を想う          | 西澤 美仁<br>佐々木邦世 |
| 大会シンポジウム記録  |                |
| シンポジウム「平泉の西行と義経」の趣旨と総括                            | 山口 眞琴          |
| 西行の見た平泉と西行の詠んだ平泉                                  | 荒木 優也          |
| 平泉の西行伝説   | 千葉 信胤          |
| 地誌の時代における平泉の義経伝説                                  |                |
| —相原友直の「平泉三部作」を手がかりに                               | 菊池 勇夫          |
| 平泉における西行と義経の「すれ違い」                                |                |
| —謡曲《野口判官》と時衆に着目して                                 | 源 健一郎          |
| 西行伝考証稿(1)—在俗時の務め先と交流関係を中心に                        | 宇津木言行          |
| 西行伝絵巻と時宗  |                |
| —『一遍聖絵』『遊行上人縁起絵』東国遊行の場面について                       | 石井 悠加          |
| 慈円終焉の歌と西行—『拾玉集』『四十八願三首和歌』読解                       | 山本 章博          |
| 西行・遊女・猫—広重『浄瑠璃町繁華の図』から西行伝承を考える                    | 宇津木言行          |
| 続西行歌碑を増補する(2)—青松山平等院(樹木葬)・日本中央の碑歴<br>史公園(つばのいしぶみ) | 山本 章博          |
| 尾山篤二郎の西行研究—全歌集の編集、伝記研究、和歌評釈                       | 中西 満義          |
| 書評 中西満義著『西行の和歌と伝承』                                | 平田 英夫          |
| 新刊紹介  |                |
| 松本孝三著『昔話伝承のフォークロア—畏怖と安寧の語り』                       | 小堀 光夫          |
| 西行文献目録  |                |
| 尾山篤二郎・西行関係文献目録                                    | 西行学会編          |
| 川田順・西行関係文献目録補遺                                    | 西行学会編          |
| 西行関係文献目録(総合版) 2009-2010年                          | 西行学会編          |
| 西行関係文献目録(地方文献版) 奈良県(2)                            | 西澤美仁編          |

#### ◆市史研究きよせ 清瀬市

〒204-8511清瀬市中里5-842 清瀬市企画部市史編さん室市史係  
Tel.042-497-1813 2016年創刊

◇7 2022.3 A5 79p

『清瀬市史4 資料編 近世』刊行

市民が語る清瀬の歴史 「リハビリテーション学院」 現代部会

リハビリテーション学院関係者に聞く 矢谷令子氏(作業療法学科

教官) / 中山孝氏(理学療法学科教官) / 高良和子氏

リハビリテーション学院小林治人副学院長について

御子息小林一義氏に聞く

調査報告 「リハビリテーション学院関係文書」について

令和三年度の古文書調査報告

紹介 伊勢遺跡出土の旧石器

講演会報告「山内上杉氏・北条氏照の文書と花辨」

講師：木下聡氏・黒田基樹氏

専門部会の動き

考古部会／古代・中世部会／近世部会／近代部会／現代部会

市史編さん草子「市史で候」 病院街の歴史紹介シリーズ第4回

五の巻之四 日本の「リハビリ」専門教育発祥の地 きよせ

(平成26日12月12日更新分)

石碑・石仏探訪(5) 下宿一丁目の石塔

黒川 徳男  
古代・中世部会  
考古部会

齊藤 隆雄

#### ◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇295 2022.9 A4 8p 400円

内田秀五郎の業績と井荻町土地区画整理(前)

寺田 史朗

#### ◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇260 2022.9 B5 25p

道切り行事の作り物の意味とかたち

一埼玉県東松山市望月、後本宿、青島の新セギ

榎本 直樹

地域の伝統と地域コミュニティづくり

東京都八王子市みなみ町三丁目・糠信富雄氏聞き書き

佐藤 広

民具と近世文書

一会津只見の近世後期「股引寸法図」と只見の民具モモヒキ

久野 俊彦

太陽暦受容の一面―「新暦萬歳」の紹介

小池 淳一

#### ◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2022-9 2022.9 A4 6p

世田谷の民話(33) 喜多見の伊右衛門やりかつぎ／現在の民話のふる

さと 喜多見のまむしよけの道具 作者・桜井正信

世田谷の民話(34) 給田の長者、娘からの使者に涙く／現在の民話の

ふるさと 給田の地名の由来 作者・桜井正信

◇2022-10 2022.10 A4 4p

郷土・郷土史関連図書情報(品川郷土の会) ペリー日本遠征随行記

発行講談社 文庫板／東京の古墳を探る 松崎元樹 吉川弘文館

世田谷の民話(35)

白髪の翁が清水を湧かす／現在の民話のふるさと 宇奈根 作者・桜井正信

世田谷の民話(36) 兵庫島に村人せいぞろい／現在の民話のふるさと

新二子橋の標識眼科は東京側河川敷 作者・桜井正信

#### ◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒185-0024国分寺市泉町2-2-21 東京都公文書館 Tel.042-313-8460

<http://www.jsai.jp>

◇112 2022.9 B5 12p

全史料協 第24期会長あいさつ

荒井 宏親

第1回役員会レポート 2年目に入った第24期体制

—催事・会務にオンラインが定着、懸案は次期体制

関根 豊

令和4(2022)年度全史料協総会

記録 中野慶一・高木謙一

2021年度公文書館機能普及セミナー in 岡山 開催記 調査・研究委員会事務局

公文書館機能普及セミナー in 岡山 参加記

三宮久美／木村崇史

全国(滋賀)大会へのお誘い

大会・研修委員会

#### ◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 Tel.03-3307-2146

<http://daidogei.info>

◇369 2022.8 A4 2p 100円

古風俗画本に見る生業

『絵本御伽品鏡』と『絵本家賀御伽』

◇370 2022.9 A4 2p 100円

自由民権運動から演歌へ

#### ◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatischen.web.fc2.com>

◇150 2022.9 B5 28p

第111回例会報告 日野市川辺堀之内遺跡・No.16遺跡の調査成果 守屋 亮  
 多摩地域の古代開発 鶴岡 正昭  
 地域史情報室 昭島市郷土資料室企画展「あきしまの鉄道」／令和4  
 年度秋季企画展「鎌倉殿の平山季重—中世日野の武士の様相」／清  
 瀬市郷土博物館特別展「古代の武蔵と清瀬」

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊  
<https://www.tamashin.or.jp>

◇187 2022.8 A5 114p

《特集 武蔵、相模の人形芝居》

首にみる武蔵、相模の人形の共通性、関わり合い 大谷津早苗  
 東京における初代西川古柳の寄席興行について 細田 明宏  
 多摩地域に広まった車人形—ろくろ車を中心に 服部 真理  
 インタビュー

江戸糸あやつり人形 結城座 三代目両川船遊師に聞く 編集部  
 秩父の人形芝居 栃原 嗣雄

山里に咲いた芸—飯能市指定有形民俗文化財「落合家人形芝居及び説  
 経節関連資料」 引間 隆文

薩摩千代太夫(落合濱次郎)の説経節台本について—飯能市指定有形民  
 俗文化財「落合家人形芝居及び説経節関連資料」 小峰 孝男

相模人形芝居下中座の歴史と今 林 美禰子

洋風建築への誘い(76) 玉川上水の流れ・橋・建物(1) 伊藤 龍也

建物雑想記(71) 中本達也・臼井都記念 芸術資源館 酒井 哲

古文書は語る(62) 鷹場内農民の生活規制と負担  
 —高橋家文書「諸御用向控帳」より 馬場 憲一

多摩の金融史(21) 戦前多摩地域の郵便貯金 田中 光

多摩の歴史を立体視!—赤色立体地図の風景(14)  
 湯殿川流域の湧水分布と中世武士文化(1) 鈴木 泰

本の紹介

東久留米市教育委員会編『東久留米市の学校史—明治・大正・昭和  
 ・平成—』 牛田 守彦

小島日記研究会編『博愛堂史話 幕末名主日記に見る江戸近郊の世  
 相』 清水 隆

八王子・日野カワセミ会編『見る!聞く!歩く! 高尾・浅川野鳥  
 図鑑』 小林 健人

◆伝え 日本口承文芸学会

〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25 白百合女子大学人間総合学部 間宮史子  
研究室 TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊 <https://ko-sho.org>

◇71 2022.9 B5 10p

ハロウィン・カード類の文化表象 飯島 吉晴

第81回研究例会報告「シンポジウム：東日本大震災から11年—震災を  
めぐる現場の声と研究者」

石井正己氏「庄司アイさんの遺志を継ぐ」／葉山茂氏「物語ること  
と身体的経験—気仙沼の被災資料整理の現場から」／内山大介氏  
「震災をめぐるモノと物語の継承—博物館学芸員と東日本大震災」

山田 栄克

第46回日本口承文芸学会大会・報告

公開講演

石井正己氏「萩中美枝とアイヌの口承文芸研究」 加藤 耕義

奥田統己氏「萩中美枝さんのフィールドワーク」 志賀 雪湖

公演「アイヌ古式舞踊」一般社団法人札幌大学ウレシパクラブ 米屋 陽一

研究発表報告

小柳紫乃氏「昔話における「男に化ける化ける狐」—民俗文化の  
なかの認識」、中根優希氏「昔話「犬婿入」再考—伝承と文学  
の関係に注目して」、内藤浩誉氏「源頼朝を巡る女性たち考—  
伊豆における北条政子・八重姫・静御前の伝説 佐藤 優

高木史人氏「「聞き手」の欲望としての〈口承〉—〈資料としての  
私(たち)〉を自覚することから見えること」、矢野敬一氏「「空  
気」・軍隊語・現代民話考—資料としての私たち」、菊地暁氏  
「道産子が民俗学を学んで『ライフヒストリーレポート選』を  
編むまで—資料としての私(たち)」 野村 典彦

奥田統己氏「アイヌ口頭文芸の継承における語り手と学習者の諸  
権利」 阪口 諒

「シンポジウム：未来につなぐ口承文芸—いかに継承していく  
か？」 木村梨乃氏・原田啓介氏・関根健司氏 事例報告／藤  
田護氏「南米アンデス高地における口承文芸のいまと未来」／  
大原由美子氏「口承文芸が言語復興に果たす役割—ハワイ語の  
事例より」／北原モコットウナシ「チウコテシカオル 交差し、  
つながる道」／パネルディスカッション 阪口 諒

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇156 2022.9 A4 6p

7月見学会(東書文庫他)の記録／見学者からの便り 文・多田統一

“渋沢建築”設計者が手掛けた高岡市シンボルへ

―築108年の「赤レンガの銀行」

文・写真 奥原一三

文献紹介 『なりわい再考 聞き書き昭和の手仕事』

文・権上かおる

東京家政大博物館「谷中りぼん展」について

伊東孝さんの『「近代化遺産」の誕生と展開』に土木学会出版文学賞

文・奥原一三

会員の皆様へ デジタル研究報(論文集)の発行について(中間報告)

茨城県ひたなか市の赤煉瓦建築物(3) 高野(こうや)疎水隧道

文・写真 八木司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

年2000円 1956年創刊

◇386 2022.10 A4 2p

江古田～小竹向原周辺の史跡巡り(2) ⑤江古田市場跡、⑥江古田ゆ

うゆうロード・庚申塔、⑦青柳家、⑧武蔵野音大、⑨そらしど緑地、

⑩小竹図書館、⑪学校法人力行会、⑫八雲神社、⑬小竹遺跡、⑭小

竹東遺跡、⑮小竹町庚申塔群、⑯エンガ川跡、⑰旭町中学校、⑱同

潤会・佐々木邸、⑲日大芸術学部、⑳錦華学院、☆御馬の碑 葛城 明彦

高礼場 七月例会 講演「中先代の乱」鈴木由美氏

豊島氏関係資料を読み直す 豊島刑部少輔信満の刃傷事件とその背景

伊藤 一美

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇111 2022.9 A4 4p

東京文化財ウィーク2022

企画事業 尾崎遺跡の展示説明会 10月29日(日)

区内の国指定・都指定・文化財の公開情報 国指定天然記念物 練

馬白山神社の大ケヤキ／国指定天然記念物 三宝寺池沼沢植物群

落／都指定史跡 石神井城跡／都指定名勝及び史跡 牧野記念公園(牧野富太郎宅跡)／都指定有形文化財 小野蘭山墓及び墓誌／都指定旧跡 池永道雲墓／都指定史跡 東高野山奥之院

目白坂の改修

石神井公園ふるさと文化館主催 東京文化財ウィーク2022 参加事業

## 神奈川県

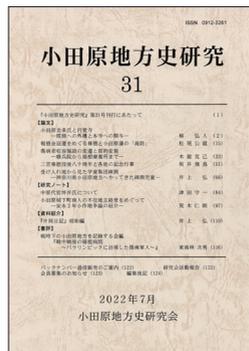
### ◆小田原地方史研究 小田原地方史研究会

〒250-0011小田原市栄町3-13-21 井上弘方 TEL0465-22-5862 1969年創刊

◇31 2022.7 B5 124p 950円

『小田原地方史研究』第31号刊行にあたって

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 小田原北条氏と円覚寺一塔頭への外護と本寺への関与         | 梯 弘人  |
| 報徳金返還をめぐる変遷と小田原藩の「海防」            | 松尾 公就 |
| 傷病者収容施設の変遷と質的変貌—癩病院から箱根療養所まで     | 木龍 克己 |
| 二宮尊徳没後八十周年と各地の記念行事               | 坂井 飛鳥 |
| 受け入れ地から見た学童集団疎開                  |       |
| —神奈川県小田原地方へやってきた疎開児童             | 井上 弘  |
| 中原代官坪井氏について                      | 津田 守一 |
| 小田原城下町商人の不在地主経営をめぐる              |       |
| —安永2年小作争論の紹介                     | 荒木 仁朗 |
| 資料紹介 『片岡日記』昭和編                   | 井上 弘  |
| 書評 戦時下の小田原地方を記録する会編 『戦中戦後の箱根病院—パ |       |
| ラリンピックに出現した傷痍軍人』                 | 東海林次男 |



\* 本号12-13p と48-49p で紹介した足立の学童疎開を語る会の活動は、疎開者

側の立場からであったのに対し、井上弘「受け入れ地から見た学童集団疎開一神奈川小田原地方へやってきた疎開児童」は受け入れ側の事情を明らかにした貴重な論考である。

井上氏はかねて受け入れ側の視点から、『小田原市史』通史編近現代(2001)の「戦争と市民生活」への執筆や、自らが事務局長を務める「戦時下の小田原地方を記録する会」で、児童や引率教師、受入れ者への聞き取り調査などを行っている。しかし、こうした調査、研究は地域や学界でもあまりされておらず、大きな転機は、一條三子『学童集団疎開 受入れ地域から考える』(岩波書店2017)であったという。

受入れ施設とその賃貸契約、受入れ側市町村の準備、受入れ者と疎開児童それぞれの証言、疎開児童の労働や地域住民の対応、疎開児童とドイツ海将兵や傷痍軍人、勤労動員学生といった地域住民以外との関りなどを克明に追っている。受入れ側には、たとえば多数を受け入れた寺院では便所や炊事場の増設が必要になるなど負担も発生しているが、一方で、戦時下で経営困難な旅館経営者には収入がもたらされ、労働力不足の農家には労働力の一助となる「利益」があった。

学童集団疎開から77年が経過して、すでに受け入れ側への聞き取りは不可能に近いが、さらに書き残したものがなにか調査を続けたいという。疎開者、受入れ者双方の立場からの交わりを期待したい。

#### ◆開国史研究 横須賀開国史研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内  
Tel.046-822-8116 年1000円 2001年創刊

◇22 2022.3 A5 158p 800円

- |   |       |
|---|-------|
| 口絵解説 高橋由一『美人(花魁)』                             | 横山百合子 |
| 『開国史研究』発刊にあたり                                 | 山本 詔一 |
| 開国史講演会 遊郭から見た明治維新一日本洋画の父 高橋由一の油<br>彩画「花魁」をめぐる | 横山百合子 |
| 開国史研究講座                                       |       |
| 横須賀に西洋館がやってきたーティポディエ邸の再現と展示                   | 亀井 泰治 |
| ベリーは、なぜ日本に来たかーその隠された目的                        | 今津 浩一 |
| 異国船情報提供を契約していた浦賀商人ー紀伊国屋伊兵衛の場合                 | 齋藤 純  |
| 史跡めぐりレポート 東側の浦賀道を巡る(1)ー保土ヶ谷～金沢八景              | 安保 進  |
| 史料紹介 サラセン号浦賀来航の記録(3)                          | 齋藤 純  |
| 研究会一年の活動                                      | 事務局   |

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 N P Oセンター鎌倉気付 メールボックス26  
2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇97 2022.9 A4 2p

野党の当選者は与党より多い?!

—2022年参議院選挙を振り返る

西 弘子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(22)

第1話「義母に聞く 大連」

高階志津江

梶田義熙さんのお話をお聞きして

(横松)

丸エキさんの養女について(中間報告)

(前田)

◇98 2022.10 A4 2p

かく子の家で思い戸惑う4(離婚が悪だった時代)

前田 セツ

シリーズ：私たちの「戦争体験」(23)

第2話「義母に聞く 引揚1」

高階志津江

「学びとは何か」を身近に考える

(多和田)

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇171 2022.11 B5 6p

書評 原淳一郎著『近世の旅と藩 米沢藩領の宗教環境』を読む 西海 賢二

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内(事務局：西村健)

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇94 2022.9 B5 4p

研究例会 第122回例会 シンポジウム「“鉄道史”展示の現状と課題

—地域博物館の視点から」岡田直「横浜鉄道クロニクル」、吉田律人「激震、鉄道を襲う！—関東大震災と横浜の交通網」、小林光一郎「みんなでつなぐ鉄道150年」、鈴木勇一郎「鉄道操車場物語—新鶴見から塩浜へ」、中野光将、コメンテーター 高嶋修一・大杉要、司会 老川慶喜/次回の研究例会

情報ネットワーク 展示会情報!

小研究会の活動状況 首都圏災害史研究会、戦後首都圏研究会

◆三浦一族研究 三浦一族研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊

[http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2120/culture\\_info/miura\\_ichizoku/](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2120/culture_info/miura_ichizoku/)

◇26 2022.3 A5 135p 800円

口絵 「西岡虎之助関連資料」

- ごあいさつ 「意識できる三浦一族研究会」を目指して 伊藤 一美  
中世三浦大多和氏の動向と大多和村のすがた 伊藤 一美  
講演会 承久の乱―北条義時の壮絶なる逆転劇 坂井 孝一  
特別連載 豪族三浦氏の発展(中) 西岡虎之助・著／高橋秀樹・校訂  
入門講座 三浦一族の本拠地衣笠を歩く 三浦芳春編  
吾妻鏡を読む会 「尊崇将軍記」もいよいよ終盤！  
若き執権・時宗たちの奮闘をリアルに描く 伯山 敦仁  
幹事のオススメ本・情報紹介コーナー  
坂井孝一著『鎌倉殿と執権北条氏：義時はいかに朝廷を乗り越えたか』 伊藤 一美  
細川重男著『頼朝の武士団(改訂新版)』 三浦 芳春  
永井路子著『相模のものゝふたち』 宇野睦(山城カールむつみ)  
澁澤敬三・神奈川大学日本常民文化研究所編『新版絵巻物による日本常民生活絵引』 伯山 敦仁  
『坂東武士団と鎌倉』と『源氏と坂東武士』の二冊 岩間満美子  
三浦一族関係文献目録(26) 中里行雄・編  
研究会一年の活動 事務局

#### ◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円 <http://www.mingu-gakkai.com>

◇164 2022.8 B5 76p

半唐箕のこと

- 一山形県白鷹町歴史民俗資料館所蔵の半唐箕をきっかけとして 守谷 英一  
金沢の夕涼み行灯―街路照明の源流と変容 大門 哲  
和製六角竿から見た20世紀日本における釣竿と生活 手塚 一佳  
ひろば 研究会報告 第159回 日本民具学会研究会「公立博物館の  
収藏品維持に関する方策の検討―公共性のある除籍について」 佐久間かおる  
書評 上尾市教育委員会編『国登録有形民俗文化財「上尾の摘田・畑  
作用具」資料調査整備事業報告書』 外立ますみ  
書籍紹介 佐藤雅也著『近代民衆の生業と祀り 労働・生活・地域祭  
祀の民俗変容』 内田 幸彦

展示批評

企画展「ふくしまの藁の文化 わらって、すげえんだがら!!」

福島県立博物館 2021年10月9日～12月19日

石川 雄也

柳宗悦没後60年記念展「民藝の100年」

東京国立近代美術館 2021年10月26日～2022年2月13日

加藤 幸治

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇654 (55-6) 2022.9 A5 24p 350円

小学校学習指導要領改訂にともなう展示と民俗資料の活用

一名古屋市博物館企画展「なごやのうつりかわり」を事例として 長谷川洋一  
地域博物館における海外由来の資料の活用例

一行田市郷土博物館所蔵「木彫りの靴」をめぐって 岡本 夏実  
民具短信 デジタルファブ리케이션と民具 道用 大介

◇655 (55-7) 2022.10 A5 24p 350円

てるてる坊主の現在地 高橋 健一

賀美蚕種製造組合とラベルに関する覚書

一埼玉県『賀美蚕種製造組合之章』について 上 林 道義

書籍紹介 木俣元一・佐々木重洋・水野千依編『聖性の物質性—人類  
学と美術史の交わる場所』

民具サロン 京王電気軌道の制服と外套 余 璋  
神 かほり

富 山 県

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円

1974年創刊

◇98 2022.9 A5 20p

佐伯安一先生の民俗学的視座とその可能性 石垣 悟

疫病にどう対処したか?—江戸期 高岡町民のくらし 晒谷 和子

越中の『曾我物語』受容 松山 充宏

佐伯先生の残された資料の整理作業から 安カ川恵子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇67 2022.8 A4 10p

富山市寺家・寺家公園西向かい路傍

平和乃礎石碑前にある獅子狛犬考

酒井 靖春

法然上人に関する石造物

滝本やすし

富山市西番霊園の無常仏「為佐羅陀山」

平井 一雄

石仏を総じて「地藏さま」と呼ぶこと

尾田 武雄

ようこそ石仏のあるライフ 第62回例会報告

藪谷 智恵

## 長野県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 Tel.0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇120 2022.10 A4 4p

ワークショップ「山里社会における生業の多様化と個性の時代—近世・近代の下伊那地域」 樋口貴彦「遠山谷の山地性集落景観—焼畑地と家屋の関係について」、コメント：鈴木利友／角和裕子「下伊那郡清内路村と周辺地域における櫛生産」、コメント：町田哲／太田仙一「王子製紙による山林開発と遠山地域社会—地域経済への影響に着目して」、コメント：小島庸平／吉田ゆり子（東京外国語大学）「遠山谷の集落と生業—近世和田宿を中心として」、コメント：森下徹

飯田市歴研賞2021 受賞者コメント 著作賞 竜丘公民館竜丘児童自由画保存顕彰委員会・飯田市立竜丘小学校・飯田市美術博物館編『木下紫水物語 全国から注目された竜丘小学校の自由画教育の指導者』（2022年3月）、著作賞 本島和人著『満洲移民・青少年義勇軍の研究—長野県下の国策遂行』（吉川弘文館、2021年9月）、論文賞 清水迪夫著『歌誌『夕樺』と下伊那青年運動』（1）～（6）（『伊那』1096～1116号）、奨励賞 座光寺歴史に学び地域をたずねる会編『古老が語った我が歩み 語り継ぎたい「昭和・平成の記憶』』（2021年8月）

リレーミニエッセイ(26) 日記を読む

前澤 健

調査速報 古瀬今村家文書と今村文庫

羽田 真也

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1131 (70-8) 2022.8 A5 54p 550円

《『伊那』復刻70周年記念》

口絵 初代島村と二代島村・眞

『伊那』70年の歩み

『伊那』復刊70周年おめでとうございます

祝『伊那』復刊七十周年

『伊那』復刊七十周年によせて

『伊那』復刊七十周年誠にありがとうございます

『伊那』復刊七十周年によせて

地域史学会について

上郷史学会四十七年のあゆみ

『伊那』に導かれ『下條史学会』を築いた活動

毛賀史学会の歩み

喬木村史学会の歩みについて

豊丘史学会の概要

座光寺史学会の歩み

「伊那復刊七十年」と竜丘史学会発足を振り返り

会員祝辞

南信州の金字塔

『伊那』との出会い

「伊那」の思い出

(無題)

原田 望

吉澤 健

岡田 正彦

山内 尚巳

瀧本 明子

関谷 邦彦

原田 望

中島 正詔

原 董

赤羽 宗勝

市瀬 辰春

大澤 俊郎

片桐 直夫

今村 文一

鎌倉 貞男

奥村 隆彦

桃澤 匡行

小木曾 茜

中山邦子／手塚恒人／長沼英光／手塚勝昭／松重ひろみ／宮下澄子



日本古文書界の夜明けを速めた『伊那』「古文書クイズ」 片岡 利貞  
郷土巡礼の歩み／伊那史学会 年次大会(講演)一覧

\*『伊那』の前身は複雑で、嚆矢は1937年11月に織物業若松屋の林栄が創刊した  
広告誌『はたの友』にある。その後、『伊那』に改題し、さらに柳田国男の『信  
州随筆』を出版した飯田の山村書院に経営が移って会員制になったが一年半で休  
刊、郷土史家として知られる市村成人を代表に下伊那教育会の歴史部員らが伊那  
郷土史学会を組織して再刊したものの、戦局の逼迫などにより1944年3月に廃刊  
になった。

戦後、市村の勧めで、戦前に印刷場で山村書院と組んで郷土出版や、新聞編集  
長の経験のある原田島村が編集・発行を引き受け、1952年8月に、郷土史研究雑  
誌として復刊した。当初は350部であったものが、30周年を迎える頃には5000部  
に達し、長野県内最大の郷土史研究雑誌となった。島村の妻貞はそれまで家計の  
支えに下駄の行商をしていたが、会費集金に歩き回るため、行商を止めて『伊  
那』一筋に打ち込んだという。1985年に島村が亡くなると、東京で勤務していた  
長男真が職を辞して帰郷し、二代目島村として引継ぎ、1996年に体調を崩した後  
は、弟望氏が当時の勤務先の長野市内から居を移し、三代目島村として現在に至  
っている。

望氏の妻富子さんも雑誌の袋詰めやタックシール貼りなど、貞同様に内助の功  
を發揮されているとのことである。こうした三代にわたる献身により、月刊でひ  
と月も休まず841号に達したことは敬服以外のなにもでもない。

伊那史学会の特徴は、島村一家が経営努力に徹し、飯田、下伊那に下部組織の  
ような研究母体としての地域史学会があることである。多い時には33もあった。  
発足のきっかけは、初代島村がバイクで飛び回り、貞が伊那谷中を集金して歩く  
のをみた地域の会員がそれを助けようとしたことにあるが、地域史学会の、まさ  
に地に着いた研究があつてこそその70年であつたといえるのではなからうか。

会員の高齢化などもあり、現在の発行部数は千部ほどに落ち込んでいる。それ  
でも全国的にみて有数の郷土史研究雑誌であることに違いはない。維持、発展を  
祈念して已まない。

◇1132 (70-9) 2022.9 A5 54p 550円

《御柱祭特集》

令和4年度壬寅 飯田・下伊那地域御柱祭実施神社一覧

各神社の御柱祭

松川町

御射山神社／神護原神社／鶴部八幡社／諏訪形神社／関宮神社 米山 梓

高森町 萩山神社／牛牧神社／伊勢神社

松上 清志

飯田市

|  |       |
|--|-------|
| 麻績神社   | 小島 稔  |
| 飯沼郷諏訪神社  | 篠田 順  |
| 尾科諏訪神社   | 吉澤 健  |
| 和田諏訪神社／程野 正八幡宮   | 針間 道夫 |
| 代田下ノ宮諏訪神社／山本七久里神社／竹佐伊奈神社／立石日枝<br>神社／知久平諏訪神社／野池神社／柏原明神社   | 編 集 部 |
| 阿智村 伍和河内諏訪神社／伍和大鹿水無社／伍和寺尾秋葉社／智<br>里園原神坂神社／春日神社／駒場市の沢諏訪神社 | 佐々木賢実 |
| 根羽村 若宮神社／月瀬神社／諏訪明神                                       | 片桐 亀十 |
| 大鹿村  | 北村 尚幸 |
| 喬木村 阿島北明神社   | 市瀬 武文 |
| 実施未定・延期・中止の神社  | 編 集 部 |
| ◇1133 (70-10) 2022.10 A5 50p 550円                        |       |
| 口絵 松川町部奈 ミソベタ層に発見した埋もれ木跡                                 | 坂本 正夫 |
| 令和二年の伊那谷豪雨災害は三六災害の雨量を超えて発生<br>イタチのなかま                    | 坂本 正夫 |
| 『亀山氏日記』 平田門人の水戸浪士が残した行軍日記の謎                              | 宮下 稔  |
| 今田の里の人形浄瑠璃芝居一育て支えた今田の里と人々(4)                             | 竹村 道生 |
| 第四章 今田の里に溶けこむ人形浄瑠璃芝居                                     | 大原千和喜 |
| 俳人井上井月が架けた中川村の坂戸橋  |       |
| 一昭和六十年秋、長谷部代蔵氏よりの聞き取りを元に記す                               | 桃澤 匡行 |
| 下伊那日録 2017(平成29年)10月                                     | 寺田 一雄 |

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇788 (66-9) 2022.9 A5 40p 600円

満蒙開拓青少年義勇軍とは何だったのか(下)

|                                |          |
|--------------------------------|----------|
| 一鉄驪義勇隊小池中隊 橋爪五郎氏の体験から考える       | 矢澤 静二    |
| 戸台分校物語(4)一へき地教育の到達点            | 岩崎 靖     |
| 高遠町の埋蔵金探索顛末記一「中有黄金充一国」の銘文の謎に挑む | 伊藤 和也    |
| 伊那谷のセキレイ類一民俗の窓を通して(42)         | 吉田 保晴    |
| 中川村西原におけるブドウ栽培の成立と経過           | 松村 正明    |
| 文化短信 百寿の母の趣味                   | 白鳥 敏明    |
| 古文書の窓(168) 疫神に退散を命じる           | 小池 悟志    |
| 図説・上伊那の民俗(62) 盆正月(南箕輪村田畑)      | 三石 稔     |
| 徒然さんば(38) 深沢川横断水路橋 箕輪町八乙女      | 絵と文・吉田勝美 |

◆木曾山林資料館研究紀要

〒397-8567木曾郡木曾福島町新開4236 長野県木曾青峰高等学校

新開キャンパス演習林管理棟 TEL0264-22-2007 2020年創刊

<http://www.kisosanrin1901.org>

◇3 2022.3 A4 83p

資料解題

|                              |         |
|------------------------------|---------|
| 大正9年の神宮御造管材伐出写真について          | 中畑 孝史   |
| 木曾山林資料館所蔵の蒸気式集材機写真           | 中畑 孝史   |
| 大正2年に採取した御嶽山のさく葉標本           | 木曾山林資料館 |
| 当館所蔵の幻灯板ガラス写真                | 木曾山林資料館 |
| ターラント高等山林学校で日本人留学生は何を学んだか    | 手塚 好幸   |
| 年表／明治時代の木曾の林業                | 山口 登    |
| 「明治の初めに木曾谷模型は何故つくられたのか」の一部訂正 | 山口 登    |
| 「木曾式伐木運材法」その名称の始まりについて       | 中畑 孝史   |
| 木曾節に唄われた御料林                  | 中畑 孝史   |
| 小川事業区に於ける伐木運材事業概況(まとめ版)      | 木曾山林資料館 |

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇871 (74-8) 2022.8 A5 82p 1150円

|  |       |
|--|-------|
| 「柏原根元録」を用いた近世初期信濃町・飯綱町地域村落の石高検討          | 渡辺 洋  |
| 京の新善光寺・信濃の善光寺、その伝承について考える                | 石川 勝義 |
| 牛伏寺の骨堂へ歯を納めた人々―新たな可能性の検討のために             | 浜野 安則 |
| 書評 倉石忠彦著『道祖神伝承論・碑石形態論』                   | 福澤 昭司 |
| 2022(令和4)年度定期総会報告                        | 事業委員会 |
| 13期の発足にあたって                              | 後藤 芳孝 |
| 第13期(2022年度～2024年度)信濃史学会役員／信濃史学会会則(一部改正) |       |

◇872 (74-9) 2022.9 A5 80p 1150円

|   |       |
|---|-------|
| 元禄期の松本城下町における中馬荷問屋の成立と商業                          | 野池 優太 |
| 諏訪大社、二つの巨木の祭に関する再考―式年造営御柱大祭の御柱・大御立坐神事(御頭祭)の湛木について | 坂間 雄司 |
| 墨書土器の筆写者  | 桐原 健  |
| 書評  |       |

「二項対立的議論」を乗り越えるために―伊藤純郎氏『満蒙開拓青

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 少年義勇軍物語：『鉄の戦士』の素顔』を読んで       | 本島 和人 |
| 佐藤雄一著『古代信濃の氏族と信仰』            | 原田 和彦 |
| 会務報告 新しい県史の編纂ほかに関する請願や要望について | 後藤 芳孝 |

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇291 2022.9 B5 10p

|  |       |
|--|-------|
| 松本市梓川真光寺の庚申道具調査報告  | 細井雄次郎 |
| 新盆見舞い  | 田澤 直人 |
| 『長野県史』現代編事業実施と公文書・地域資料の保存・活用の充実<br>を求める知事及び教育長への要望書提出について」報告 | 多田井幸視 |
| 令和四年春の祭礼と新型コロナウイルス(covid-19)に関する情報交換<br>会報告                  | 樋口 明里 |
| 初めての例会に参加して(第230回例会)   | 加藤穂乃佳 |

岐 阜 県

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円

1973年創刊 <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/library-information/related-organizations/kyoshiken/>

◇138 2022.9 B5 28p

|   |       |
|---|-------|
| 西部に遺る村義会議事録   | 黒田 隆志 |
| 洪沢栄一と縁の岐阜県人   | 清水 進  |
| ウィーン万国博覧会の出品要請と岐阜県の対応<br>—明治五年「庶務課日記」を中心に                                 | 養島 一美 |
| 岐阜県の郡史について—郷土史文献紹介(1)『恵那郡史』   | 早川 万年 |
| 岐阜県図書館より 岐阜県図書館のデジタルコレクション<br>書窓の風  |       |
| 郷土史二冊 『美濃神戸 瀬古の歴史 黎明から明治末まで』(瀬古<br>歴史研究会、令和三年)／『多良郷史』(多良歴史同好会、令和四<br>年二月) | 児玉 剛  |
| 『北濃地区 史跡文化伝承』   | 曾我 孝司 |
| 飛驒古代史の英雄「両面宿儺」  | 茂住 修史 |
| 郷土関係新刊書目録(123)  |       |

郷土関係逐次刊行物文献目録(121)

◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊 <https://www.rekihaku.gifu.gifu.jp>

◇112 2022.9 A4 8p

表紙 左近兵衛田地売寄進状 大永元年(1521)12月17日 立政寺蔵

企画展「美濃の名利 立政寺の寺宝—古文書と仏画の世界」

加藤栄三・東一記念美術館「栄三・東一 岐阜を描く」

加藤栄三・東一記念美術館「N I H O N G A 榮の会」

立政寺と淀稲葉家(後編)

中島 雄彦

館蔵資料紹介

汽車土瓶 昭和20～30年代 長さ11cm 幅9cm 高さ6cm

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室  
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇528 2022.9 A4 4p

9月例会・大杉栄墓前祭講演会のお知らせ

講演会 田中ひかる氏「アナキズムの現在と未来—『アナキズム  
を読む』(皓星社)を刊行して」

会員著書紹介 『和解をめぐる市民運動の取り組み—その意義と課題』

(外村大編、明石公園、2022年、4500円)

清水 実

収集資料をどう残していくのかという悩み

加藤 善夫

◇529 2022.10 A4 4p

総会記念講演会レジュメ

水平社百年 近代社会における部落問題・再考

黒川みどり

論文紹介 新妻博子・馬場俊彦「硫黄島発の PB4Y による東日本沿  
岸への攻撃—捕鯨のまち・宮城県鮎川を起点として—」(『空襲通信』

第24号 2022年8月

村瀬 隆彦

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇244 2022.9 B5 4p

記念シンポジウムの詳細 今川氏研究の成果と課題 大石泰史氏、今川氏検地の再検討 鈴木将典氏、戦国大名今川氏の天文の三河侵攻・再考 糟谷幸裕氏

例会報告要旨 7月例会

今川氏検地の再検討

鈴木 将典

戦国大名今川氏の天文の三河侵攻・再考

糟谷 幸裕

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇163 2022.10 B5 8p

第133回研究会 長坂、鈴木両氏発表

長坂良治氏の「【三共(株)と渋沢栄一及び静岡県との関係】について」の概要／鈴木康久氏の「【足利尊氏、激動期を駆ける】について」の概要

## 愛知県

◆愛城研報告 愛知中世城郭研究会

〒445-0072西尾市徳次町地藏44-3 石川浩治方 TEL0563-65-9070 1994年創刊

◇25 2022.8 B5 137p

名古屋市南区・笠寺台地の城館(1)

安藤 義弘

岡崎市小針城について

石川 弘治

多治見市笠原町内に確認される城郭遺構について

遠藤 久生

岡崎城の構築と「岡崎」

奥田 敏春

甲山城と永井城

関口 和也

関白様御家中衆の造瓦体制

寺井 崇浩

描かれた順天倭城と南海倭城—絵画史料『征倭紀功図巻』を読む  
寄進される「牧内新城」

堀口 健次  
山崎 裕太

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<https://www.atsutajingu.or.jp>

◇275 2022.8 A5 56p

狂歌師蘆辺田鶴丸と熱田宮

野村 辰美

安全・安心な正参道の修景・剪定整備の考え方(1)

原野 幹義

創祀千九百年記念造営事業の回顧(32)  
熱田神宮撰社南新宮祭礼の周辺

小久保雅広  
細谷 公大

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円  
1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇621 (62-5) 2022.9 A4 8p 600円

表紙写真の言葉 白髭明神稚児田楽

佐賀県佐賀市久保泉町川久保白髭神社 坂本 要  
南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)(3)一奄美諸島(2) 坂本 要  
東京・浅草寺 ほおずき市 石川 博司  
新刊紹介 児玉絵里子著 初期歌舞伎・琉球宮廷舞踊の系譜考—三葉  
葵紋、枝垂れ桜、藤の花—

## 滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊  
<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇181 (46-4) 2022.10 B5 88 600円

《特集 湖国の原風景—記憶を未来へ》

プロローグ

写真が語る湖国

湖北 ハンノキのある風景／農の歳時記／オコナイ／雨乞いと返礼

—「太鼓踊り」／地図から消えた村 中川 一郎

草津110年の写真館 西岡 正男

琵琶湖の原風景 烏丸崎の赤野井湾 中島 省三

大津・肥桶を積む荷車 谷本勇／解説・木津勝

沖島・朝の栈橋 前野 隆資

古写真とアーカイブの動き

記憶の先の「懐かしい未来」 地域の中の「玉」探そう 吉田 一郎

まちと人の成長、写真に 草津の写真館の5代110年 文・三宅貴江

世界、日本、滋賀、そして湖北 デジタルアーカイブの今 橋詰 知輝

うるわしき琵琶湖よ永遠に 「父子今昔写真90年」整理の歩み 大橋 洋

滋賀のデジタル・アーカイブ

大津市歴史博物館 「大津の古写真」2千枚以上をウェブ公開 木津 勝

琵琶湖博物館 50万点超す映像資料、登録11万4千点 編集室  
記憶を継ぐ

「歴史が軸」のまちづくり 吉成さんに聞く  
ぎふメディコスの挑戦—吉成信夫氏インタビュー 三宅 貴江  
「ふだん着の記憶」集め継ぐ 広がる「ふるさと絵屏風」 上田 洋平  
インタビュー 湖と生きる 「小原かご」と山の記憶を伝承  
すべてをつくりだす山の暮らし 文・堀江昌史／写真・浅井千穂

近江の懐(22) 武佐宿  
聖徳太子の縁の寺 長光寺、軍事の要衝・信仰の拠点、Chokoji マ  
ルシェ 加藤 賢治  
武佐の道標パン 石川 亮  
ぶらり近江はっけん伝(22) 追分 岸野 洋  
歴史の玉手箱(25) 近代都市大津の発展 郵便、電力、電話、ガス  
…各種インフラ 大津百町の繁栄ベースに先端歩む 杉原 悠三  
カラーグラビア

琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人々が織りなす歴史と今(7)  
湖周辺の弥生人の暮らしを探る 文・妹尾裕介／写真・オザキマサキ  
祭の美 祈りのかたち(15) こんがり素朴14種 遣唐使が伝えた菓  
子(敬宮神事〈ちんつくり〉=東近江市黄和田町・日枝神社)

写真・文 川島朱実

万葉の旅人(14) 真野の池の小菅を笠に縫はずして人の遠名を立つ  
べきものか(巻11—2772 作者不明) 浮名も運ぶ? 要衝・真野  
文と曲・林博通／画・鈴木靖将

近江の黎明 相谷熊原遺跡から探る縄文の世界(6)  
墓群にルール、モニュメントも存在? 松室 孝樹  
トムさんの日野暮らし(9) 「三冊の本」  
わがまちの「芸術の本」書き続け、未来へ トム・ヴィンセント

#### ◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇138 2022.9 A4 6p

企画展 上田道三—彦根の歴史風景を描く

彦根城郭旧観図 上田道三筆 当館蔵

展示案内 テーマ展 展示室1 源氏物語—古典の継承と展開、特集

展示 展示室6 松居石材商店の歴史、新収蔵資料クローズアップ

井伊直政書状 酒井三郎右衛門尉宛、企画展 展示室1・2 上  
 田道三彦根の歴史風景を描く、企画展 展示室1・2 彦根藩井  
 伊家の刀剣  
 研究余録 金亀玉鶴 「作り物控」からみる井伊直忠と能道具 茨木 恵美

京 都 府

◆古代文化 古代学協会

〒604-8205 京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48 TEL075-252-3000  
 年8000円 <https://kodaigaku.org>

◇629 (74-2) 2022.9 B5 156p 2700円

前漢後半期における官僚機構の構造の展開

一尚書の展開と三公制の形成を中心として 福永 善隆  
 漢代における矯制と璽書偽造 野口 優

特輯 弥生系高地性集落の再考論(上)

特輯「弥生系高地性集落の再考論(上)」に寄せて 森岡 秀人  
 備讃瀬戸における高地性集落とその背景 信里 芳紀

中部瀬戸内の高地性集落—土器編年からの再考(岡山県域) 河合 忍

大阪湾岸の高地性集落—集団組成と集団関係 三好 玄

樹木年輪酸素同位体比の周期性からみた「高地性集落」の背景 中塚 武

大阪平野における弥生時代以後の集落移動頻度の検証

一弥生高地性集落理解の前提として 若林 邦彦

貝塚・貝層の高所形成をめぐる生活集団の性格 石丸恵利子

GIS眺望分析を用いた高位置集落における眺望域の評価

一中・東部瀬戸内地域を事例として 宇佐美智之

グスクをめぐる解釈と到達点についての提要—グスク論の現在地 山本 正昭

滋賀県彦根市稲部遺跡出土帯状漆塗繊維製品の発見と課題 戸塚 洋輔

『小右記』註釈(29) 長和4年6月4日・5日・6日条 佃 美香

私の古代学(27) 北陸の古墳研究と地域考古学研究 伊藤 雅文

高松塚古墳発掘50周年(3) 高松塚古墳発掘50周年(3)

極彩色壁画検出の顛末—1972年3月21日正午とその前後 森岡 秀人

『江家次第』にみる朝廷儀礼の式次第(6) 大嘗会(1) 近藤 好和

図版解説 加茂宮ノ前遺跡の調査成果 田川憲・氏家敏之

新刊紹介 大澤正昭著『妻と娘の唐宋時代 史料に語らせよう』 劉 揚

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内  
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇927 (92-7) 2022.8 A5 30p 918円

画論研究3 『画筌』の研究—現代語訳付(4) 寺本 健三  
「三宝院宝篋印塔」疑考(下)

三宝院宝篋印塔基壇の築造時期と壇上「宝珠」の意義 加藤 繁生  
第1097回 教王護国寺(東寺)の文化財を訪ねる 山田 隆之

◇928 (92-8) 2022.9 A5 34p 918円

九州の石塔調査報告 8. 鎮国寺請雨経曼荼羅石窟仏 佐藤 誠

和歌山県かつらぎ町の頬切地蔵について—付：笠石と称する笠塔婆 木下 浩良

画論研究(3) 『画筌』の研究—現代語訳付(5) 寺本 健三

第1098回 近世寺院建築の到達点 国宝専修寺を訪ねる 野崎小百合

新刊紹介 木下浩良著『未来をひらく！空海さんの教え—弘法大師に  
学ぶ これからの私たち』 木下 浩良

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431  
年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimie/>

◇78 2022.9 A4 8p

第58回地名フォーラム

研究発表「三輪山」考—山名についての試(私)論 堀田悟史氏 堀田 悟史

講演「地名研究法私観」 工藤主税男氏 中島 正

地名随想

山城の枕詞 沖村 由香

小野小町伝承と地名(3) 福知山市小野脇の小町伝承 明川 忠夫

平安京を偲ぶ町名(3) 土御門町(つちみかどちょう) 清水 弘

◆土車 古代学研究所だより 古代学協会

〒604-8131 京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48 TEL075-252-3000  
<https://kodaigaku.org>

◇145 2022.9 B5 8p

古代学協会設置顕彰碑 此附近 藤原定家一条京極第跡 山田 邦和

宮崎駿・ジブリアニメと私の「古代学」 榎村 寛之

五島列島に入唐航路を訪ねる(上) 田中 俊明

解説 藤原定家一条京極第跡 山田 邦和

顕彰事業 此附近藤原定家一条京極第跡 顕彰碑除幕式

## 大阪府

### ◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇417 2022.9 B5 10p

史料紹介 山本家文書 明治中期の山本家の事業 井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(25) 二山 和美

史料紹介 泉州の寺社(16)

藤田家文書31-1 九社明神之定式(1) 年不詳

◇418 2022.10 B5 12p

里江浮丘と岡田半江—その書簡から(1) よねかずゆうたろう

泉佐野市長山本昇平氏の思い出 北山 理

現代語訳「食家と佐野と海」(26) 最終回 二山 和美

史料紹介 泉州の寺社(16) 藤田家文書 九社明神之定式(2)

### ◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇453 (39-7) 2022.7 B5 8p

巻頭言 神のおやしること(73) 住吉大社(5) 和久 敦也

令和4年6月例会報告(第415回) 『近代日本の軍隊と地域社会』

神戸女子大学文学部教授 博士(文学) 京都大学 松下孝昭氏 (報告・朝山)

会員の書評 『古典の細道』(白洲正子 新潮選書・新潮社) 評者・井川光正氏

◇454 (39-8) 2022.8 B5 8p

巻頭言 神のおやしること(74) 枚岡神社 和久 敦也

令和4年7月例会報告(第416回) 『北海道を開拓した士族たち』

大阪歴史懇談会理事 中澤祐一氏 (報告・和久)

会員の書評 『日本の伝統』(岡本太郎 光文社知恵の森文庫) 評者・井川光正氏

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『薩英戦争』西

山正徳、『「幕末」に殺された男』—生麦事件のリチャードソン—

宮沢真一、『生麦事件』上・下(新潮文庫) 吉村昭、『薩英戦争』遠

い崖 アーネスト・サトウ日記抄2(朝日文庫)

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇87 2022.9 A5 88p

巻頭写真 大塩平八郎捕縛縁の品々

講演録 緒方洪庵の感染症対策

松永 和浩

大坂町奉行所与力身分の継承

保田 恒雄

「蔦田捨札之写」翻刻によせて

宮崎ふみ子

大塩事件研究会顧問有光友信師を偲ぶ

藪田 貫

資料翻刻 「摂州能勢郡新乱妨一件」

大塩の乱関係資料を読む部会

「天保八酉七月 摂州能勢郡新乱妨一件」について

藪田 貫

大塩ゆかりの地を訪ねて(13) 「奥州仙台 大年禅寺」

山本 珠美

会員だより

「大塩平八郎召捕棒」と「土井利位感状」

松浦 信輝

「大和屋と大塩平八郎の縁」

大和 孝資

洗心洞通信(75)

◆かいづか文化財だより テンプス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇77 2022.9 A4 8p

表紙 国宝孝恩寺観音堂の現況(令和4年7月撮影)

国宝孝恩寺観音堂 令和の大修理(6)

市立東山小学校の3年生が郷土資料館を見学しました/市立第二中学

校1年生の「地域新聞」づくりの取材活動

姉妹都市カルバーシティ市のレオ・ザ・ライオンー貝塚市歴史展示館

の展示資料から(6)/「御財印めぐり」で御財印を集めてみませんか?

か?

「貝塚市文化財保存活用地域計画」をつくります

古文書講座ー市内に残る身近な古文書 御巡見様御通(ごじゅんけん

さまおとおり)

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇874 2022.9 A4 10p 300円

葛城山麓の群集墳と横穴式石室

松田 真一

祈る皇女 斎王のみやこ 斎宮の遺跡「斎宮跡」

榎村 寛之

京都大学キャンパスの建築史と武田五一の作品

川島 智生

◇875 2022.10 A4 8p 300円

仏門入門 平等院鳳凰堂のみほとけ

関根 俊一

赤坂・忍坂と脇本遺跡をめぐる

前園実知雄

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇645 2022.9 B5 26p

山城 如意ヶ嶽城を訪ねる(10月・第708回例会) 今回の見どころ

8月・第706回例会報告

河内守口宿と文祿堤(京街道) 担当幹事: 平川大輔・森田又一

報告・平川大輔

福原京と湊川の戦いの陣城

藤岡 秀典

福井県の一乗谷城を訪ねて

坂本 昇

別冊(B4 6頁) 第707回例会 播磨 赤穂城を訪ねる

担当幹事: 石田泰信・木下修二

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇409 2022.9 B5 20p

北摂における古墳築造の画期

上田 直弥

長岡京と向日丘陵の古墳を訪ねる(上)

村瀬美和子

読書室 水谷千秋著『日本の古代豪族100』(講談社現代新書)

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇293 2022.8 A5 91p 900円

萩藩の越前方と地域経済

山本 一夫

わたしたちの文化財

もりぐち歴史館 旧中西家住宅

大野 薫

史跡 安宅氏城館跡

佐藤 純一

書 評

国立歴史民俗博物館監修「性差の日本史」展示プロジェクト編『新

書版 性差の日本史Ⅱ

松井 洋子

高木純一著『中世後期の京郊荘園村落』

稲葉 継陽

伊藤陽平著『日清・日露戦後経営と議会政治—官民調和構想の相克』

下重 直樹

2022年度大会・総会の記録

2021年度委員会

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内

TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊

<http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇36 2022.8 B5 44p 1000円

石見吉川家十一代目 吉川和泉守経實(5)

田村 紘一

北海道を開拓した藩士たち—仙台藩の士族

中澤 祐一

倭国王“帥升”—綏靖即位前紀

岩谷 隆行

魅惑の国トルコ

夏原 君代

大阪の橋？

和久 敦也

明治人の旅日記を読む—肥後熊本から朝鮮へ

寺井 正文

令和三年度の歩み

磯崎 素子

兵庫 県

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyou.g2.xrea.com>

◇81 2022.9 B5 8p

安倍晋三元総理大臣銃撃事件の衝撃とその影響

馬原 浩一

家系研究小ネタ特集(7) 浄瑠璃坂の仇討ちと、ある一族の歴史

(馬原)

家系研究協議会 令和4年度総会の集計結果

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇654 2022.9 B5 8p

10月行事 文化講演会

舞台装置家・手書き文字作家 竹内志朗 七十年の軌跡

浮世絵版画—西宮の風景あれこれ(9) 西宮市 西田公園 秋

布広 良雄

- 撰津国、中世武家の興亡と家紋 田中 豊茂  
 7月行事 阪神競馬場見学会 江崎健一郎  
 西宮の万葉風景だより(4) 名次山・角の松原 岡本三千代  
 会員活動報告 国際接種COVAXへ緊急追加支援(2) 中村宏／山本純子  
 ◇655 2022.10 B5 8p  
 11月行事 秋の見学会 西宮市大谷記念美術館特別展  
 銘酒の町が育てた世界的大作家 小西 巧治  
 浮世絵版画—西宮の風景あれこれ(10)  
 西宮市 西宮神社 七五三まいり 布広 良雄  
 10月行事 文化講演会  
 舞台装置・手書き文字作家の竹内志朗さんご紹介 森村 暁子  
 会員活動報告 椿大神社『短詩形文学献詠祭』で全国入選 山本 純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇354 (61-5) 2022.10 A5 49p 600円

《特集 近代地域の生活文化史断片》

ひょうご史こぼれ話 語り 小墓圓滿地藏尊 今村 欣史

宝塚の売布神社はやはり貴船神社か

—並河誠所の延喜式内社比定は怪しい 渋谷 武弘

「みなとの祭」の開催と葛藤

—一九三〇年代における都市祭礼の意義 吉田 隼人

多可・西脇のニジュウソウ—失われる民俗行事の報告(1) 柴田 昭彦

大正・昭和初期における郡農会の実態—京都府熊野郡を中心として 高橋 玄

残暑お見舞い申し上げます／新入会員紹介

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年1月5日～1月30日)

大国正美／有吉康徳

和歌山県

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊

<http://wakayamachihoushi.blog.fc2.com>

◇83 2022.7 A5 60p

近世玉津島の景観と古代「明光」—「荒磯」の発見から 藤本清二郎

近世紀伊国の複檀家制・覚書  
武内宿禰誕生伝承について  
書評

藤井 寿一  
寺西 貞弘

和歌山地方史研究会編『地方史研究の最前線 紀州・和歌山』 高橋 修  
動向 2022年度和歌山県内展覧会情報

◆熊野情報 熊野歴史研究会

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課 山本殖生  
TEL0735-23-3368 年3000円

◇227 2022.10 B5 2p

西国巡礼三十三度行者の拠点を訪ねて／堀内新宮城跡と越後城跡を歩  
く／地方史研究協議会大会(三重県)／後誠介先生著『紀伊半島大荒  
れ』／中田重頭先生著『熊野びとの戦記』／『紀南・地名と風土研究  
会会報』62号

岡山県

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部  
久野研究室気付・小野功裕 TEL086-252-2482 年1500円 1986年創刊  
<http://historyokayamas1009.xrea.com>

◇157 2022.9 B5 36p

戦国・織豊期における宇喜多氏の家中編制(3)

一主に同時代史料及び「宇喜多秀家土帳」の検討を通じて 森 俊弘  
書評 宮家準著『備前の児島・五流修験—その歴史と伝承』 徳永 誓子  
博物館・展覧会めぐり 岡山県立記録資料館企画展「子どもへのまな  
ざし」を見学して 長田 夏帆  
読書日記 見田宗介『現代社会はどこへ向かうか—高原の見晴らしを  
切り開くこと』 山下 洋

◆きび野かわら版 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505  
<http://www.o-bunka.or.jp> 2022年創刊

◇1 2022.9 A5 8p

内田百閒文学碑〈内田百閒記念碑園内〉

岡山市中区小橋町の旭川河畔

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇225 2022.9 A4 20p

備後国衆列伝(13) 沼隈郡の渡辺氏 田口 義之

小林悠一のかんたん古文書講座(9)

中世石造物の調査報告 文責・篠原芳秀

福山城惣構を取り巻く土塁(2)―正保城絵図を基として 瀬良 泰三

近世福山の歴史講座(41) 第六部 水野時代総集編その二 高木 康彦

調査報告 神島城跡について 杉本 憲宏

史料紹介 井上家文書(3)「文政六年癸未九月新溝再興御願一件」2

文責・小林悠一

「西備名区」に出てくる「尾高城主山名宮内少輔時興」からの推考 川内 和夫

『日本書紀』の吉備国 おわりに 若林 啓文

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇98 2022.8 A5 60p 700円

2022年の盆に 岡崎 環

備後一宮吉備津神社 本殿保存修理事業概要(2) 尾多賀晴悟

失われた尾道歳時記より 林 良司

巖島神社大鳥居の建立と材木の調達 岡崎 環

史料から読み込む民俗(4)―「家」を守る 菅 信博

資料紹介 「春草堂詩鈔」に記された江戸時代の三次鵜飼の一情景 葉杖 哲也

伝説から探る奴可郡と小早川隆景の関わり 正木真理子／高柴順紀

民俗点描

新刊紹介 『ふるさと 諸木地区の歴史と文化』重本義之、『ふるさと

安佐 第十二号』安佐通史会 稲田 公子

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇378 2022.9 B5 12p

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 今月の各地 経つ程に解せないこと              | 津島 敏子 |
| 秋のバス研修旅行案内 隆景公四国攻め「天正の陣」史跡巡り  | 西村 雅幸 |
| 小早川家を想う                       | 小早川紀伊 |
| 三原市のカワウ対策 第2報(後期)(完結編)        |       |
| —平成30年～令和2年の取組 まとめ…つづき        | 行長 啓三 |
| 本町いろは歴史講座 講師 橋本敬一先生『西国街道』(1)  | 事務局   |
| ◇379 2022.10 B5 12p           |       |
| 広島県民俗芸能緊急調査シリーズ(1)「連れ弾き」に同行して | 西村 雅幸 |
| 消えた遺跡「正家の井戸」(1)               | 大谷 和弘 |
| 「レキカン創立35周年記念誌」へ掲載の索引作成担当者募集! |       |
| 本町いろは歴史講座 講師 橋本敬一先生『西国街道』(2)  | 事務局   |

## 徳 島 県

### ◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇128 2022.9 A4 8p

描かれた「阿波の旅人」

八十八ヶ所四国霊験図会(徳島県立博物館蔵)

松永 友和

Culture Club 恐竜だけじゃない、徳島県勝浦町の化石たち

小布施彰太

令和4年度特別陳列「阿波の旅人—旅と名所の江戸時代」

速報 大久保家から寄贈された漆器類—半田漆器に関わる資料

大橋 俊雄

情報BOX かがやく生き物

小川 誠

レファレンスQ&A 家の裏に「おふなとさん」と言う神様の祠があ

ります。何の神様ですか?

庄武 憲子

## 福 岡 県

### ◆田川市石炭・歴史博物館館報

〒825-0002田川市伊田2734-1 石炭記念公園内 TEL0947-44-5745 2008年創刊

<https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/list00784.html>

◇15 2022.3 A4

山本作兵衛炭坑記録画の中国語(繁体字)訳について

福本寛/豊田暁非

描かれた100年前の田川鉱業所と田川一斎藤五百枝「炭鉱漫画」(2) 清水 憲一

## 沖 縄 県

### ◆南島考古 沖縄考古学会

〒901-2701宜野湾市宜野湾2-6-1 沖縄国際大学社会文化学科 考古学研究室

TEL098-893-9028 <http://nanto-ko-ko.org>

◇41 2022.7 B5 176p 3000円

《高元政秀先生追悼号》

- 『南島考古』第41号《高元政秀先生追悼号》の発刊にあたって 上原 静  
高元政秀・元沖縄考古学会会長のご逝去を悼む 安里 嗣淳  
高元政秀先生略年譜・高元政秀先生著作目録 眞 嗣一  
ヒニグスクについて—その後の縄張り調査から 上原 静  
琉球列島におけるグスクの石垣刻印 瀬戸 哲也  
グスクにおける3つの機能—グスク=集落説の再評価  
グスク時代における石積み技術と高層化の相関性について 山本 正昭  
—グスクに見られる段築状の石積みを中心に 久貝 弥嗣  
グスク時代から近世琉球期にかけての伊良部島における集落の変遷 南 勇輔  
沖永良部島・与論島における城郭遺構の検討  
陶磁資料から見た近世アジア海上交流  
—勝連グスク出土の銅貨をめぐる 坂井 隆  
奄美大島北部及び喜界島出土のジュゴン肋骨製サイコロ 盛本 勲  
グスク時代におけるくびれ平底土器の系譜 與嶺友紀也  
藪地洞穴遺跡出土遺物の年代 横尾昌樹・米田穰  
新城下原第二遺跡出土のイノシシもブタなのか？  
—縄文時代早～前期の沖縄型ブタ飼育パターン 新美倫子・玉城綾  
「古座間味型」貝輪素材の登場—貝交易のエポック 木下 尚子  
供給地からみた貝交易—嘉門貝塚出土の貝殻集積 島袋 香美  
貝塚時代後期末の奄美諸島—グスク時代3点セット成立前夜 新里 亮人

### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇252 2022.9 B5 8p

- 9月定例会レジメ 企画展「あなたの知らないサシバの世界」 與那覇史香  
10月定例会レジメ 「島尻のパーントゥプナハ研究の展開」 湯屋 秀捷  
7月定例会レジメ  
宮古島市内の戦争遺跡分布調査—平良地区の報告を終えて 森谷 大介

|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 8月定例会報告「琉球の献上馬と倭寇」             | 長濱 幸男 |
| シンポジウム『宮古島と琉球帝国』／公開活用事業第四回関連行事 |       |
| 夏休み体験学習「発掘調査体験」を行って／沖縄の本土復帰五十年 |       |
| 記念企画展「宮古島市の発掘調査からみた本土復帰50年」    |       |
| 企画《復帰50年と私》                    |       |
| 「復帰協」から「オール沖縄」へ                | 仲宗根將二 |
| 5・15私的考察                       | 池城 直  |
| 「池間大橋」30年と「宮古大陸」(?)            | 仲宗根將二 |

### 寄贈図書紹介

#### ◆令和3年度特別展 バラのすべて～All about Roses

千葉県立中央博物館編・刊 (〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2 TEL043-265-3111) 2021年3月 A4変型 79頁

千葉県立中央博物館開催の特別展の展示解説図録。レーシヒの『バラ彩色図譜』、ルドゥーテの『バラ図譜』などヨーロッパの書籍やアールヌーヴォーのガラス工芸、日本の浮世絵、和書、バラ模様の銘仙の着物やバラを描いた現代の絵画等バラのすべてを、植物学、園芸、美術史他さまざまな視点から紹介する。はじめに(古泉弘士)／第1章 バラの植物学／第2章 バラの歴史／第3章 バラの育種／第4章 花の女王、バラ／第5章 日本のバラの歴史(江戸時代のバラ、明治時代のバラ、戦後のバラの復興)／第6章 バラの魅力／第7章 現代のバラ作品／解説／展示資料一覧

#### ◆異聞 本能寺の変ー『乙夜之書物』が記す光秀の乱 史料で読む戦国史 4

萩原大輔著 八木書店出版部 (〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 TEL 03-3291-2961) 2022年3月 A5 274頁 2800円+税

加賀藩の兵学者 関屋政春(慶長20年<1615>～貞享2年<1685>)が著した『乙夜之書物』(3巻3冊、寛文9年～11年)を素材として、記事の史料写真・翻刻・大意を紹介しながら、明智光秀の挙兵から山崎の戦い、坂本落城に至る本能寺の変や戦国時代のエピソードの実像に迫る。はじめに／第一章 『乙夜之書物』とその著者(コラム 『乙夜之書物』、何と読む)／第二章 『乙夜之書物』が記す織田信長攻め(謀議と挙兵、コラム 桂川で「敵は本能寺にあり」と言ったのか、本能寺攻め、コラム 白小袖の信長のイメージはいつからか、信長の最期、謀反の遠因)／第三章 『乙夜之書物』が記す織田信忠攻め(妙覚寺・二条御所へ、コラム 挙兵した光秀は何歳だったのか、二条御所の攻防、コラム 山崎庄兵衛その後、脱出した織田有楽斎)／第四章 『乙夜之書物』が記す乱の終焉(安土城の接収と山崎の戦い、コラム 高野山に光秀供養塔を築かせた津田重久、明智左馬助と明

智弥平次、安土退去と坂本落城、コラム 明智左馬助の兄弟が築いた光秀墓、信長に鐘を浴びせた天野源右衛門／第五章 『乙夜之書物』が記す戦国エピソード(惟任光秀の乱直後の前田利長、コラム 前田利長の誕生日、徳川家康の「神君伊賀越え」、佐々成政の「さらさら越え」、伊達政宗の「小田原参陣」)／おわりに／付録 『乙夜之書物』内容一覧、主要史料解題、主要参考文献／あとがき／索引

◆学童集団疎開平和祈念碑が伝えるもの—体験者の建立への想い

足立の学童疎開を語る会編・刊 B5 12頁

学童集団疎開平和祈念碑メッセージ(足立の学童疎開を語る会)／学童集団疎開平



和祈念碑が伝える／なぜ記念碑の建立なのか／学童集団疎開とは／足立区の国民学校／学童集団名疎開の三苦／疎開地での生活／勤労奉仕や楽しいことも体験／苦しくなってきた疎開地での生活／戦後・学童疎開50周年／疎開の収集資料／足立の学童疎開を語る会の結成／次世代に伝えたいことは／体験者による資料展、体験者による資料展／感謝の記念品の品々／祈念碑の建立への願い／学童集団疎開平和祈念碑建立への取り組みをしました／みんなで考えた学童集団疎開平和祈念碑です／皆様ご協力よろしくお願ひ申し上げます

◆片岡日記 大正編 (大正10年～大正11年、大正12年9月～大正15年)

星野和子校訂 小田原史談会編・刊 (〒250-0021 神奈川県小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852) 2022年9月 A4 168頁 1000円+税

「片岡日記」は、幕末の小田原本陣家に生まれ、明治期には小田原町の議員、助役といった公職を歴任し、その後藤沢貯蓄銀行(後関東銀行)の小田原支店長として在職する傍ら郷土史家としても活躍した片岡永左衛門(万延元年(1860)～昭和18年(1943))の全3冊978丁に及ぶ日記。本書には、関東大震災による小田原町の詳細な被災状況やその復興状況、明治維新後の城の建物、維新功臣人物評、小田原町の政治の裏事情など、大正時代の小田原の様子を伝える大正10年(1921)から同15年までの記事を翻刻・収録する。あわせて当時を彷彿とさせる口絵写真

104点も掲載。口絵／「片岡日記」大正編 解題(星野和子)／「片岡日記」大正10年(1921)、大正11年(1922)、大正12年(1923)、大正13年(1924)、大正14年(1925)、大正15年(1926)／内容目録／人名索引／あとがき(青木良一)

#### ◆大和市の災害史

大和市役所文化スポーツ部文化振興課編 大和市(〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間1-1-1 市史・文化財係 TEL046-260-5225) 2022年9月 A5 590頁

大和市域にかつて影響を与えたであろう噴火、地震、気象災害などの自然災害と疫病(感染症)についてまとめる。第一章では大和市域に関連する大規模災害について概説し、第二章では大和市域に関連する災害が記録された資料を掲載。第三章では大和市制施行以降の災害対策および支援策等を年代順に収録する。発刊に寄せて(大木哲)／第一章 災害と市域(第一節 噴火と市域(金澤浩平)、第二節 地震と市域(金澤浩平)、第三節 気象災害と市域(白石成子)、第四節 疫病(感染症)と市域(金澤浩平・大堀淳))／第二章 大和市域の災害資料集(第一節 災害資料年表、第二節 市域に伝わる災害の文書記録(44点)、第三節 「高下日記」にみる災害と人々の暮らし)／第三章 大和市の災害対策・支援の歴史(第一節 大和市の災害対策・支援年表(今野美保)、第二節 災害派遣職員の記事(大堀淳))／参考文献／謝辞・協力者一覧／附図「大和市内地質柱状図」

#### ◆武者の覚え 戦国越中の覇者・佐々成政

萩原大輔著 北日本新聞社(〒930-0094 富山市安住町2-14 TEL076-445-3352)

2016年7月 四六判 165頁 1600円+税

2015年4月から12月まで31回にわたる北日本新聞文化面の連載をもとに、佐々成政の実象と虚像に迫る。プロローグ 秀吉も認めて厚遇／巻一 信長の親衛隊／巻二 越中国主への歩み／巻三 本能寺の変の衝撃／巻四 秀吉との攻防／巻五 予期せぬ厚遇と転落／巻六 変転するイメージ／エピローグ 天下人の時代へ役割 成政の資質と力量／巻末付録 佐々成政関連年表・主要参考文献／あとがき

#### ◆謙信襲来 越中・能登・加賀の戦国

萩原大輔著 能登印刷出版部(〒920-0856 石川県金沢市武蔵町7-10 TEL076-222-4595) 2020年8月 A5 118頁 1400円+税

2018年1月から12月まで月2回・計24回にわたる北國新聞および富山新聞文化欄の連載をもとに、最新の研究成果による上杉謙信の実像を北陸側の視点から捉え直す。はじめに一11度にわたる出兵、食うための戦争?／第1章 襲来前夜／第2章 盟友救援／第3章 報復攻撃／第4章 侵略戦争／第5章 能州蹂躪／第6章 伝承生起／おわりに一過度な英雄視と決別 野心を秘めた侵略者／謙信軍の兵火を受けた伝承をもつ寺社一覧／主要参考文献／あとがき

#### ◆これであなたも歴史探偵! 歴史資料調査入門

千枝大志・川口淳編著 風媒社(〒460-0011 名古屋市中区大須1-16-29 TEL

052-218-7808) 2022年8月 A5 167頁 1700円+税

東海三県の資料の実践的読解を通して、新たな視点で地域の歴史資料と向き合うためのヒントを満載したガイドブック。はじめに(千枝大志)／Ⅰ 希少な歴史資料の読み込み方 史実からよみ直す藤原師長の伝承と史跡(西村健太郎)、中世の古文書を読んで古城を訪ねる(桐田貴史)、伊勢参詣曼荼羅にみる伊勢のニュータウン事情(千枝大志)、「売券」から聖地・伊勢の原風景を読む(千枝大志)／Ⅱ 豊富な歴史資料の集め方 古地図と地形から熱田神宮祭礼の周辺を読み解いてみる(細谷公大)、俳諧資料で江戸時代の風景を旅する(上嶋康裕)、伊勢型紙商人の足跡をさぐる(代田美里)、名所図会に描かれている動植物を調べてみよう(永田孝)、松浦武四郎の文人ネットワークを探る(山本命)、古本屋から見た歴史資料(奥村悠介)／Ⅲ 無数の歴史資料の捌き方 お土産版画で明治期の伊勢変遷を探索してみよう(飯田良樹)、絵はがきを使って現地を歩いてみよう(朝井佐智子)、町並みを歩いて産業遺産を楽しむ(朝井佐智子)、古地図で楽しむ廃線(福原稔浩)、図書館・文書館を活用して昔のことを調べる楽しみ(中川剛マックス)、ハザードマップ・メンタルマップを解説する(安元彦心)／Ⅳ 新たな歴史資料の活かし方 古地図観察に役立つ「古地図観察パネル」(日比野洋文)、石造物から歴史を読み解くコツと「ひかり拓本」の活用(上嶋英之)、デジタル撮影とブログ公開で町をデジタル化する(榊屋善則)、江戸時代の巡礼ルートをIT技術で調査しよう(川口淳)／付録 主な古文書慣用語一覧、『御家正統書札文海』に載る主な書始文言と陰暦月の異名、『御家正統書札文海』に載る主な書止文言、主な古文書の形態、西暦・和暦・干支対照表／主要参考文献／おわりに(川口淳)

#### ◆乙訓の原像・続々編

中村修著 志学舎(〒272-0032 千葉県市川市大洲4-9-2 TEL047-321-4577) 2022年8月 四六判 345頁 3800円+税

2019年4月に逝去した著者の京都府乙訓地域研究の三冊目の論文集。『乙訓の原像』(2004年)、『乙訓の原像・続編』(2012年)に続き、長年にわたり編集代表・編集顧問を務めた『古代史の海』(「古代史の海」の会)発表論文を中心に、新稿を含む乙訓地域の古代史に関する論稿9編を収録する。口絵/序(榊木謙周)／第一章 六甲山と向日神／第二章 向日神社文書と島院／第三章 弟国宮・補論／第四章 乙訓(弟国)と土師氏／第五章 玉手より祭る酒解神／第六章 玉手より祭り来る酒解神(補充編)／第七章 乙訓の古山陰道／第八章 葛野と入野／第九章 川岡地域の歴史／あとがき／カバー絵(高橋信夫)

#### ◆特別展 山地平野、川とともに池一宇治のくらしと空間

宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2022年9月 A4 48頁

宇治市歴史資料館の特別展の展示図録。東部に山地、中央部に平野があり、宇治

川が貫流している宇治市域の山地・水辺・平野という多様な生活空間に焦点をあて、主に江戸時代以降の古文書や古地図、さらに民具・写真などによって、それぞれの地域の様相や人々の営みを紹介する。はじめに／1 山地の暮らし（山地の村・笠取、池尾・白川の風景）／2 水辺の暮らし（巨椋池をめぐる争論、写真でみる巨椋池の漁業）、巨椋池の漁労用具／3 平野の暮らし（宇治郷の営み、宇治茶の発展と御茶師）／宇治茶の生産・販売用具（五ヶ庄の平野・檜島の平野・伊勢田の平野、新たな平野へ、巨椋池干拓）／稲作の用具

## ◆後記

前号の雑誌紹介頁と当欄で、『長野県民俗の会通信』290（2022.9）掲載の太田真理「コロナ禍中の御柱祭一何を守り、何を置き換えたか」を取り上げ、私の郷里の御柱祭についても触れた。その里曳き行事が10月8-9日に行われ、家族全員で参加した。コロナ下で様々な規制があり、地域外からの出かけることは憚られたが、氏子として温かく受け入れてもらうことができた。柳田國男『日本の祭』に、祭りの要素の一つに「共同労働」が上げられている。一本の柱（神社全体では4本）に綱をつけて曳き、建てる行為はまさに氏子が心と力を合わせての共同労働である。柳田は、共同にはいろいろの形があり、所を異にして生産する者の交易や交換までがこの中に含まれると言っている。そこまで拡大しないまでも、氏子たちは、前年から切り出す柱の見立てに始まり、藁を持ち寄って曳き綱を繕うなどの諸準備、片付けまで祭りの運営の全てを共同労働で行っている。曳き、建てる行為はほんの一部に過ぎず、当日のみの参加は心苦しい限りであった。その里曳きのさ中、御柱祭総委員長の飯澤誠さんから、木遣りの研究者がみえていると一人の女性を紹介された。思いもよらぬことにそれが太田さんで、聊か興奮した。御柱祭に出かける前、『柳田学舎』169（鎌倉柳田学舎 2022.9）で、なぜ祭りを続けなければならないのかを考察した名倉慎一郎「コロナ下の祭り」（初出は『遠州常民文化』265 遠州常民文化懇話会 2022.7）という興味深い論考を読んだ。太田さんの論文共々裨益させられるところが多く、今回の体験を交え、郷里の御柱祭参加記をまとめてみたいと考えている。（飯澤）

地方史情報 158 2022年(令和4年)11月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開 : 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

\*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。